

米先物取引の試験上場に関する シーズンレポート



平成24年6月

農林水産省

【本資料の目的】

「米先物取引の試験上場に関するシーズンレポート」は、米先物取引の試験上場について、その価格動向、取引量の動向、取引参加者の状況、その他関連する情報を収集・整理し、これを原則として3か月ごとに公表することによって、米先物取引の試験上場の実施状況について各種情報の提供を行うことを目的としております。

今回の本レポートは、本年3月から5月までを主な対象としております。

※ 認可されている試験上場の期間は、平成23年8月8日から2年間です。

- 1 本レポートは、今後、必要に応じて追加・削除など内容を変更することがあり得ます。
- 2 本レポートは、情報提供を目的としたもので、商品先物取引その他の取引の推奨、助言等を目的としたものではありません。
- 3 このほか、本レポートの利用上の注意、用語解説については、巻末に記載しております。

試験上場を巡る主な経緯

平成23年3月8日	・東京穀物商品取引所及び関西商品取引所が米の試験上場の認可申請
平成23年7月1日	・米の試験上場の認可
平成23年8月8日	・取引開始(2年間)
平成23年11月10日	・関西商品取引所で初の納会日(11月限)を迎え、14枚(42t)の現物受渡し
平成23年11月18日	・東京穀物商品取引所で初の納会日(11月限)を迎え、16枚(96t)の現物受渡し
平成23年12月13日	・第1回米先物取引の試験上場に関するシーズンレポート公表
平成24年1月4日	・東京穀物商品取引所が値幅制限(サーキット・ブレーカー)の運用方法を変更(1日に許容する値動き幅を縮小等)
平成24年3月19日	・第2回米先物取引の試験上場に関するシーズンレポート公表
平成24年3月30日	・関西商品取引所が平成24年10月～12月限(24年産新穀)の価格調整表を制定(参考資料P50)
平成24年4月1日	・東京穀物商品取引所が米の先物取引の現物受渡し方法の柔軟化として、合意早受渡し制度を導入(参考資料P51) ・東京穀物商品取引所及び関西商品取引所が米の受渡しに係る放射性物質の基準値を4月1日以降、100bq/kgとすることを決定(参考資料P54) ・東京穀物商品取引所が米の先物取引における受渡地を拡大(参考資料P56)
平成24年4月9日	・東京穀物商品取引所が平成24年10月～12月限(24年産新穀)の価格調整表を制定(参考資料P50)
平成24年5月29日	・東京穀物商品取引所が農産物市場の移管の方針を公表(参考資料P57) 〔平成25年2月を目途に、大豆等を東京工業品取引所に、米を関西商品取引所に移管〕

目次

1. 米先物取引の試験上場の現状

(1) 取引価格の動向	
① 取引価格の推移	2
② 日々の始値、高値、安値、終値の推移	4
③ 値幅制限等の発動状況	7
④ 各限月別の発会値段、最高値段、最低値段、納会・5月末値段	8
(2) 取引量の動向	
① 出来高（市場における注文成立数）の推移	10
② 限月別の出来高状況	13
③ 他の主要商品と米穀の出来高合計の比較	14
④ 海外からの取引参加状況（東京穀物商品取引所）	16
(3) 取組高、取引参加者の動向	
① 取組高（東穀、関西取合計）の推移	17
② 取引所別の取組高の推移	17
③ 限月別の取組高の状況	19
④ 東京穀物商品取引所の主要商品と米穀の取組高の推移	20
(4) 現物受渡しの状況	21
(5) 取引参加者の構成	
① 当業者・非当業者の割合	23
② 建玉報告対象者の割合	25

2. 関連情報

(1) 米の取引価格及び数量	
① 相対取引価格・数量	28
② 小売物価統計による推移	32
(2) 期近限月の終値と自由米価格（スポット価格）の値動き	33
(3) 平成23年産水稻の作柄概況	
① 全国・都道府県別作況指数	34
② 平成23年産水陸稲の収穫量（全国農業地域別）	34
③ 水陸稲（子実用）の年次別推移（全国）	35
(4) 農産物以外の上場商品及び金融商品等の動向	
① 工業品の動向（東京工業品取引所）	36
② 株価の動向（日経平均株価（225種））	39
③ 為替の動向（対米ドル、T T S）	39

3. データ集

(1) 東京穀物商品取引所の取引価格データ（始値、高値、安値、終値、帳入値段）	42
(2) 関西商品取引所の取引価格データ（始値、高値、安値、終値、帳入値段）	45

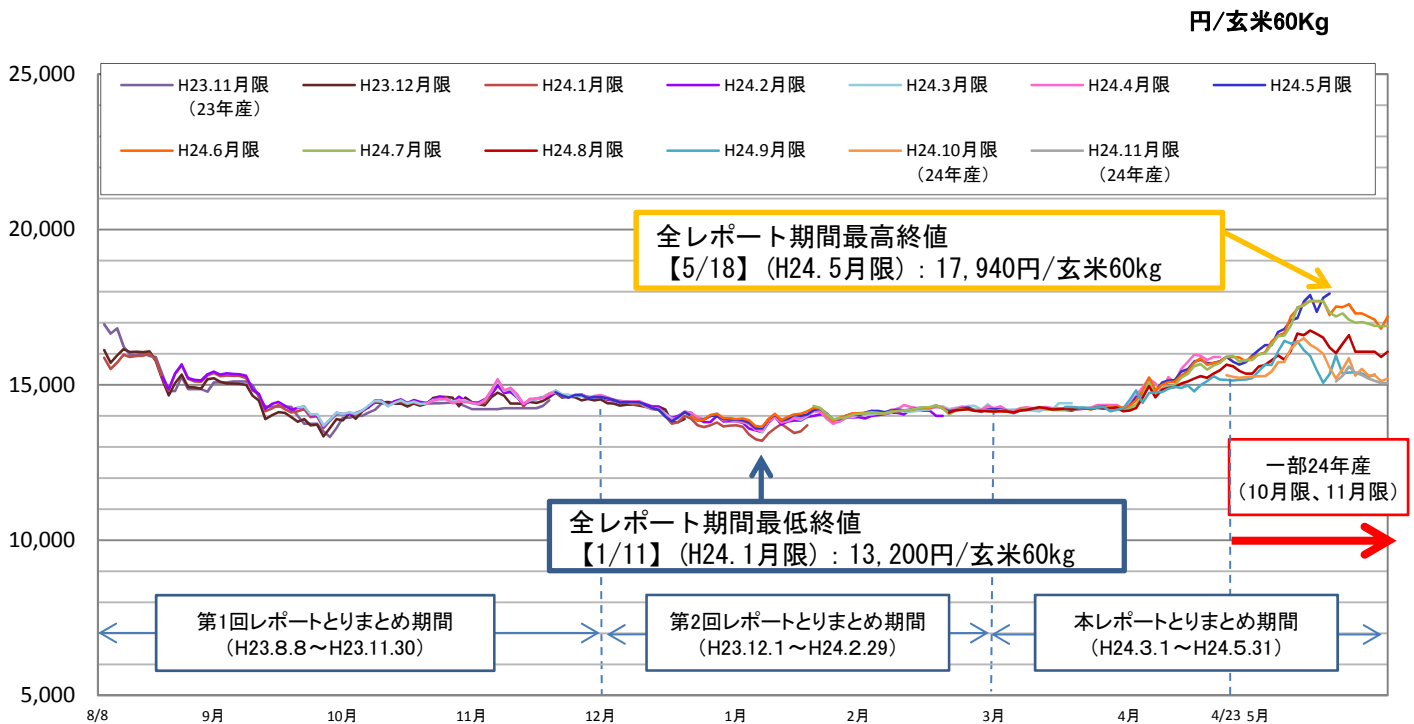
4. 参考資料

1. 米先物取引の試験上場の現状

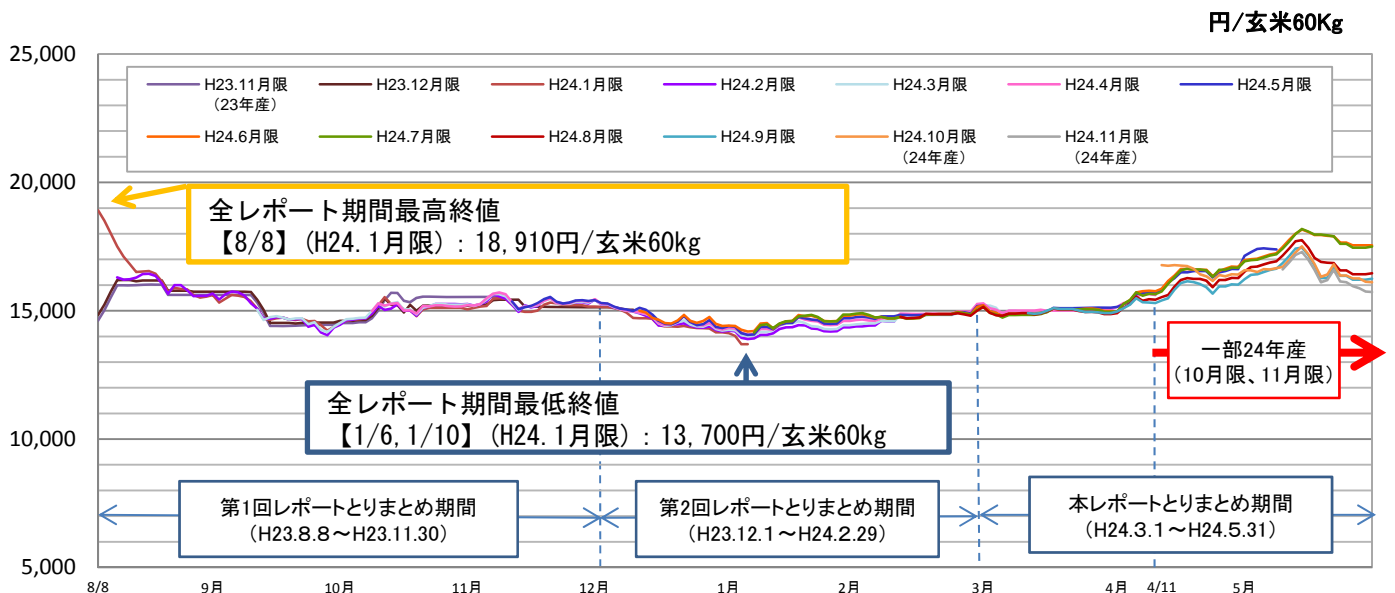
(1) 取引価格の動向

①-1 取引価格の推移【平成23年8月8日～平成24年5月31日】

ア 東京穀物商品取引所(関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米)の終値



イ 関西商品取引所(北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米)の終値



注1：価格は、平成23年8月8日から平成24年5月31日までの終値。ただし、東京穀物商品取引所の場合、終値又は取引終了までの一定時間内に成立した取引価格により一定の方法で算出した価格（帳入値）。

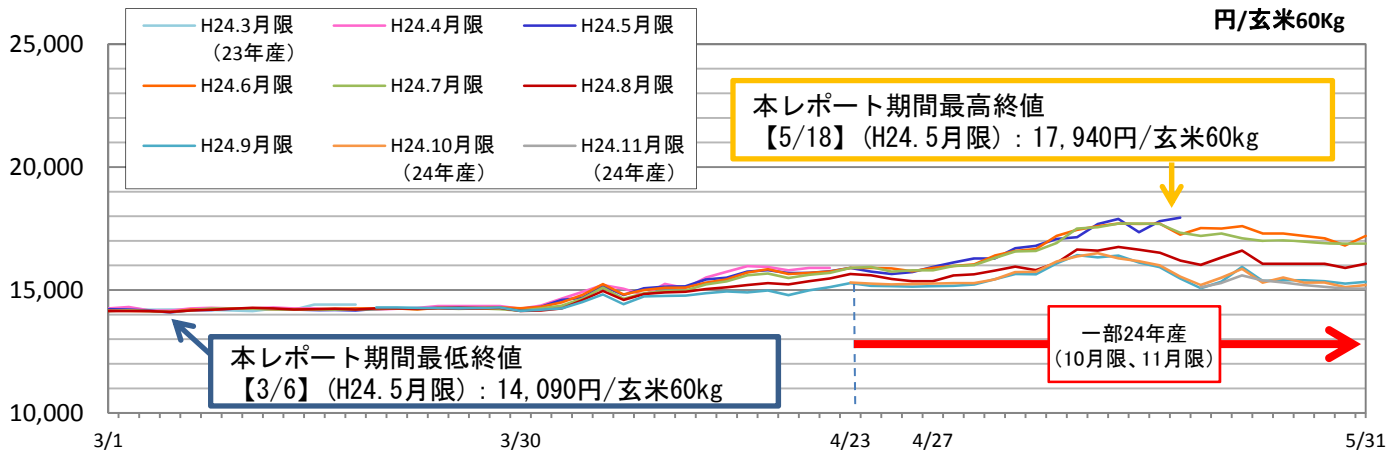
注2：取引所が指定する倉庫の置き場渡し価格（包装代込み、消費税抜き。以下、米穀の先物取引の価格について同じ。）。

注3：月限とは、売買契約を決済しなければならない期限の月。

注4：H23.11月限～H24.9月限までは23年産米、H24.10月限以降は24年産米を標準品として取引。

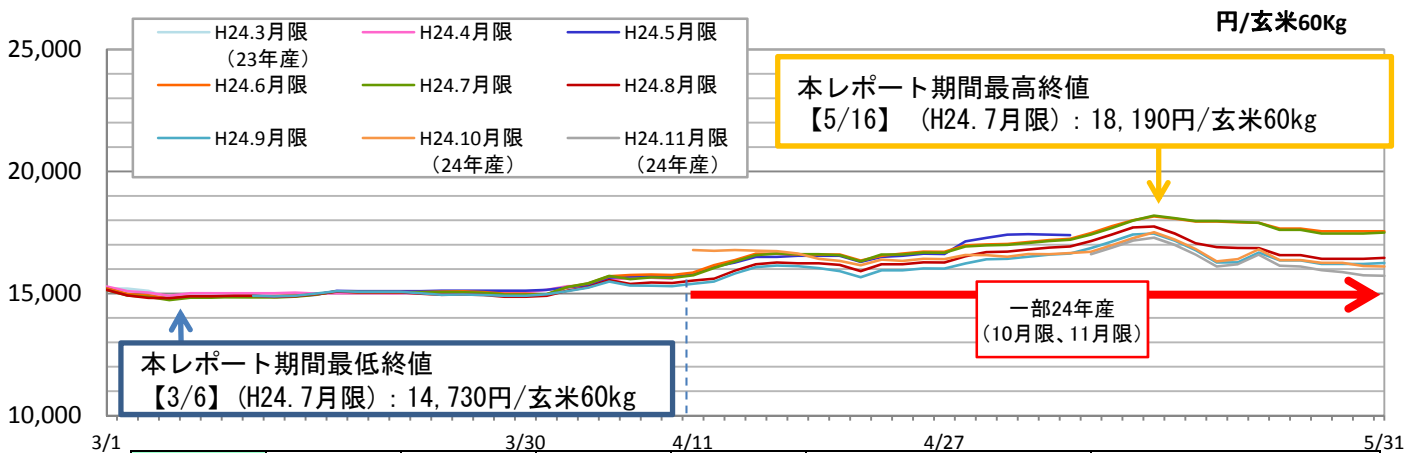
①-2 取引価格の推移【平成24年3月1日～平成24年5月31日】

ア 東京穀物商品取引所(関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米)の終値



	3月1日	3月30日	4月27日	5月31日	最高(月日)	最低(月日)	
23年産	3月限	14,200			14,410(3.15~19)	14,140(3.12)	
	4月限	14,250	14,240		15,970(4.16)	14,160(3.6)	
	5月限	14,220	14,230	15,940	17,940(5.18)	14,090(3.6)	
	6月限	14,160	14,260	15,900	17,700(5.15,5.17)	14,110(3.6)	
	7月限	14,140	14,160	15,800	17,700(5.15~16)	14,110(3.6)	
24年産	8月限	14,140	14,150	15,360	16,750(5.15)	14,110(3.6)	
	9月限		14,150	15,160	16,420(5.11)	14,150(3.30)	
	10月限			15,260	15,200	16,500(5.14)	15,120(5.30)
	11月限				15,060	15,590(5.23)	15,060(5.30~31)

イ 関西商品取引所(北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米)の終値



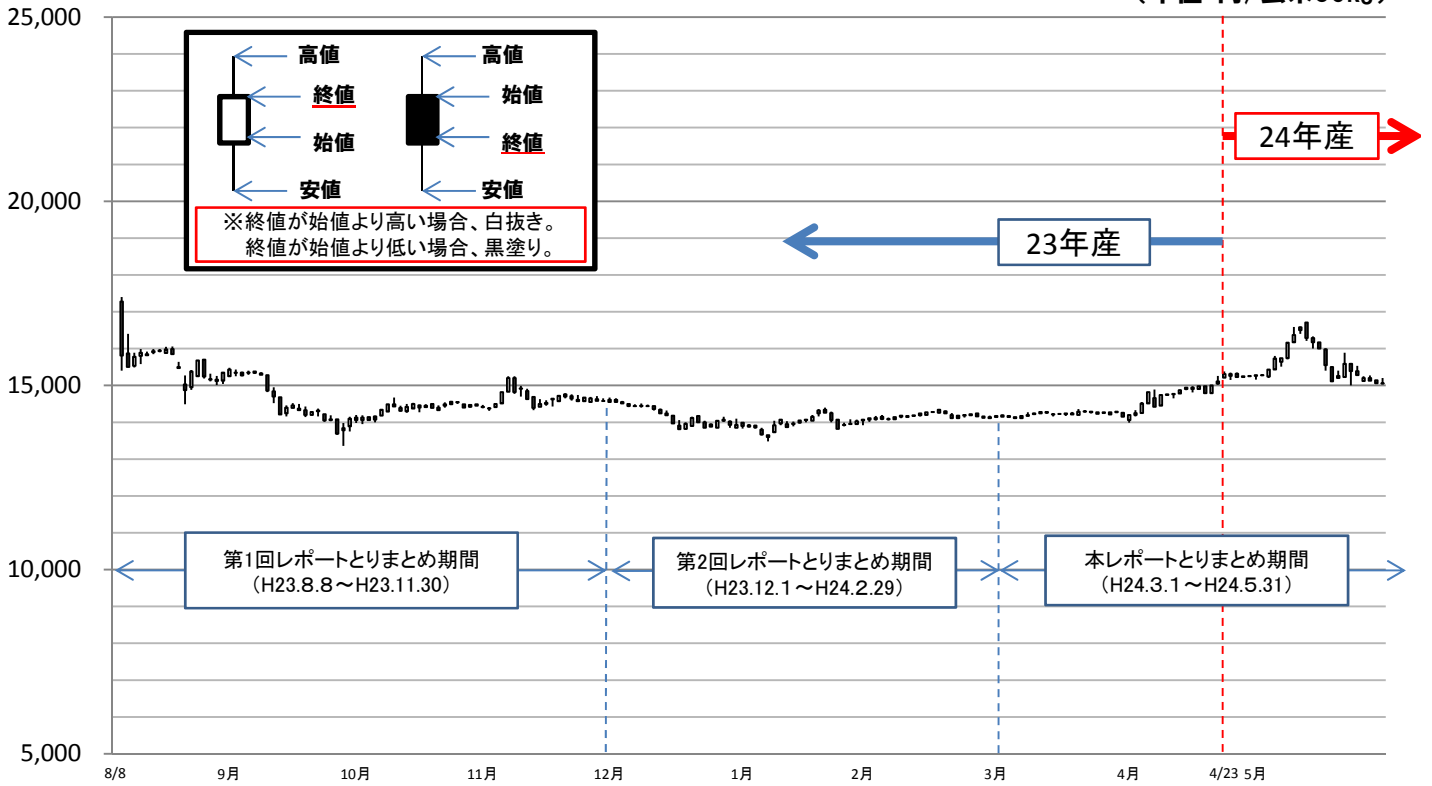
	3月1日	3月30日	4月27日	5月31日	最高(月日)	最低(月日)	
23年産	3月限	15,210			15,210(3.1)	14,830(3.6)	
	4月限	15,290	15,050		15,650(4.6,4.9)	14,910(3.6)	
	5月限	15,200	15,120	16,620	17,430(5.8)	14,780(3.6)	
	6月限	15,210	14,990	16,710	17,550	18,160(5.16)	14,790(3.6)
	7月限	15,150	14,960	16,670	17,500	18,190(5.16)	14,730(3.6)
24年産	8月限	15,150	14,870	16,270	16,460	17,750(5.16)	14,810(3.6)
	9月限		14,910	16,020	16,250	17,460(5.16)	14,880(3.13)
	10月限			16,410	16,110	17,510(5.16)	16,110(5.31)
	11月限				15,730	17,290(5.16)	15,730(5.31)

注：価格は、平成24年3月1日から平成24年5月31日までの終値。ただし、東京穀物商品取引所の場合、終値又は取引終了までの一定時間内に成立した取引価格により一定の方法で算出した価格（帳入値）。

②-1 日々の始値、高値、安値、終値の推移【平成23年8月8日～平成24年5月31日】

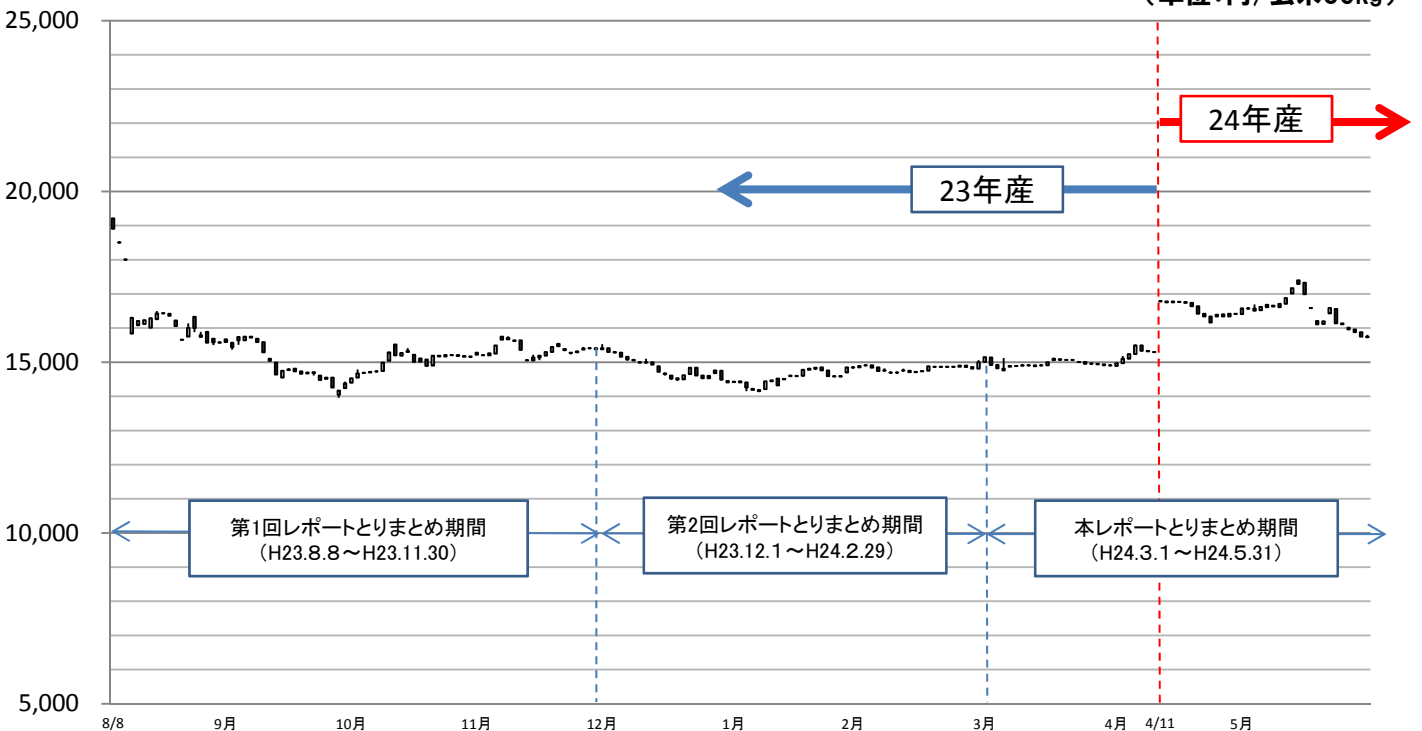
ア 東京穀物商品取引所(関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米、期先限月)

(単位:円/玄米60kg)



イ 関西商品取引所(北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米、期先限月)

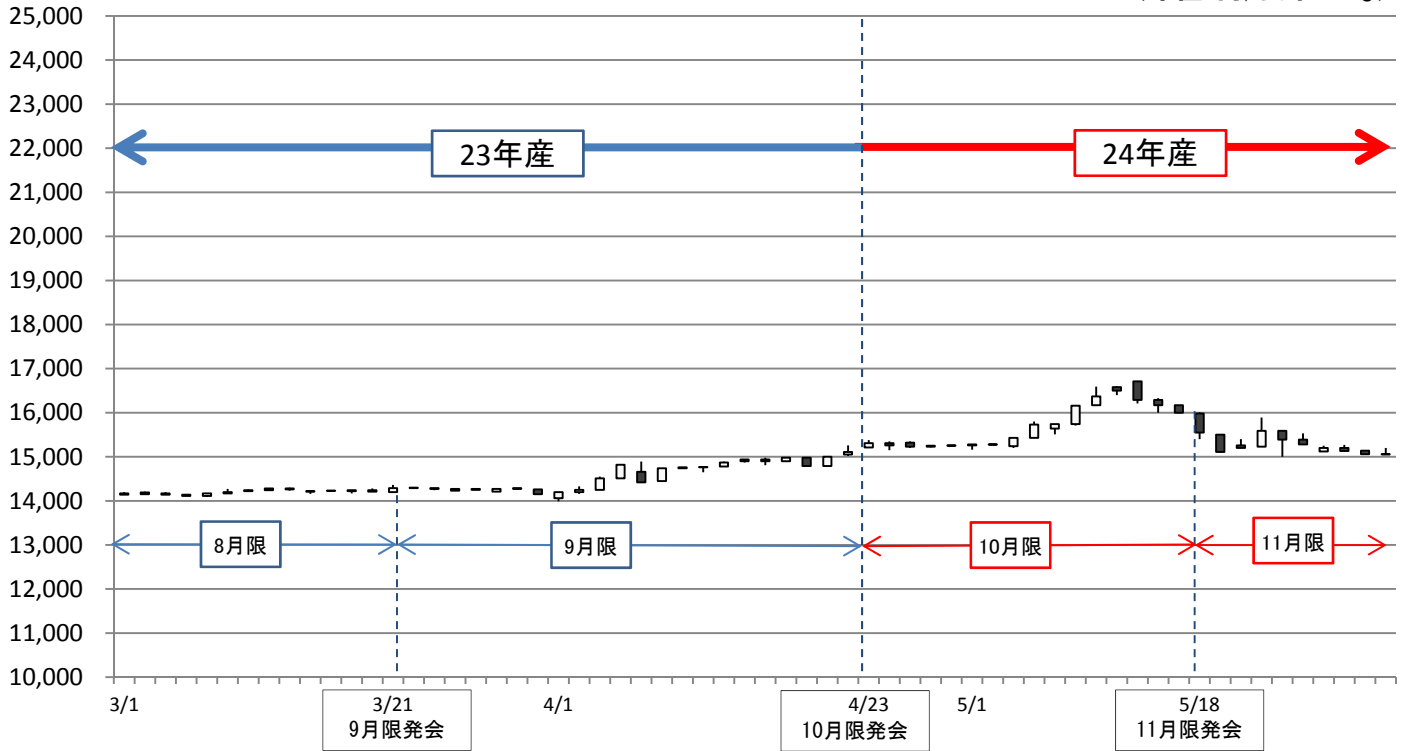
(単位:円/玄米60kg)



②-2 日々の始値、高値、安値、終値の推移【平成24年3月1日～平成24年5月31日】

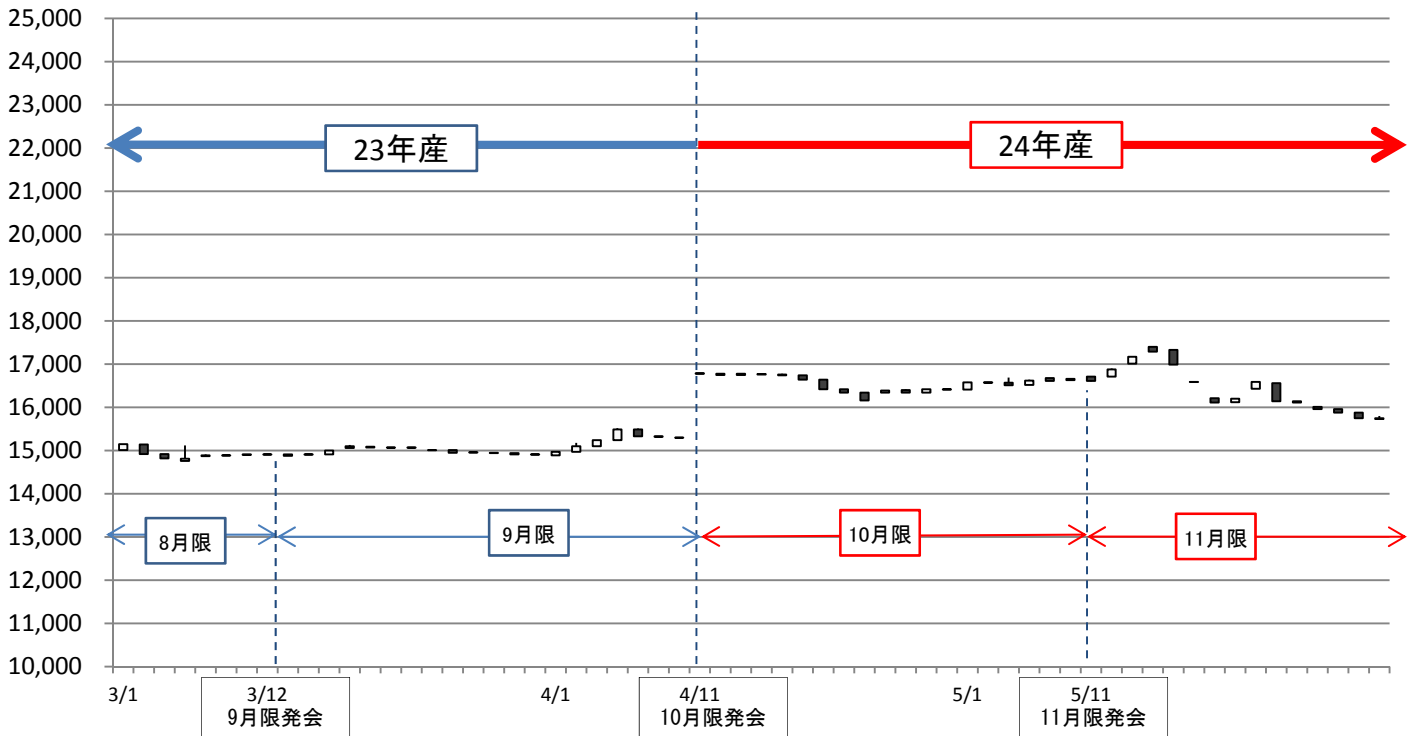
ア 東京穀物商品取引所(関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米、期先限月)

(単位:円/玄米60kg)



イ 関西商品取引所(北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米、期先限月)

(単位:円/玄米60kg)

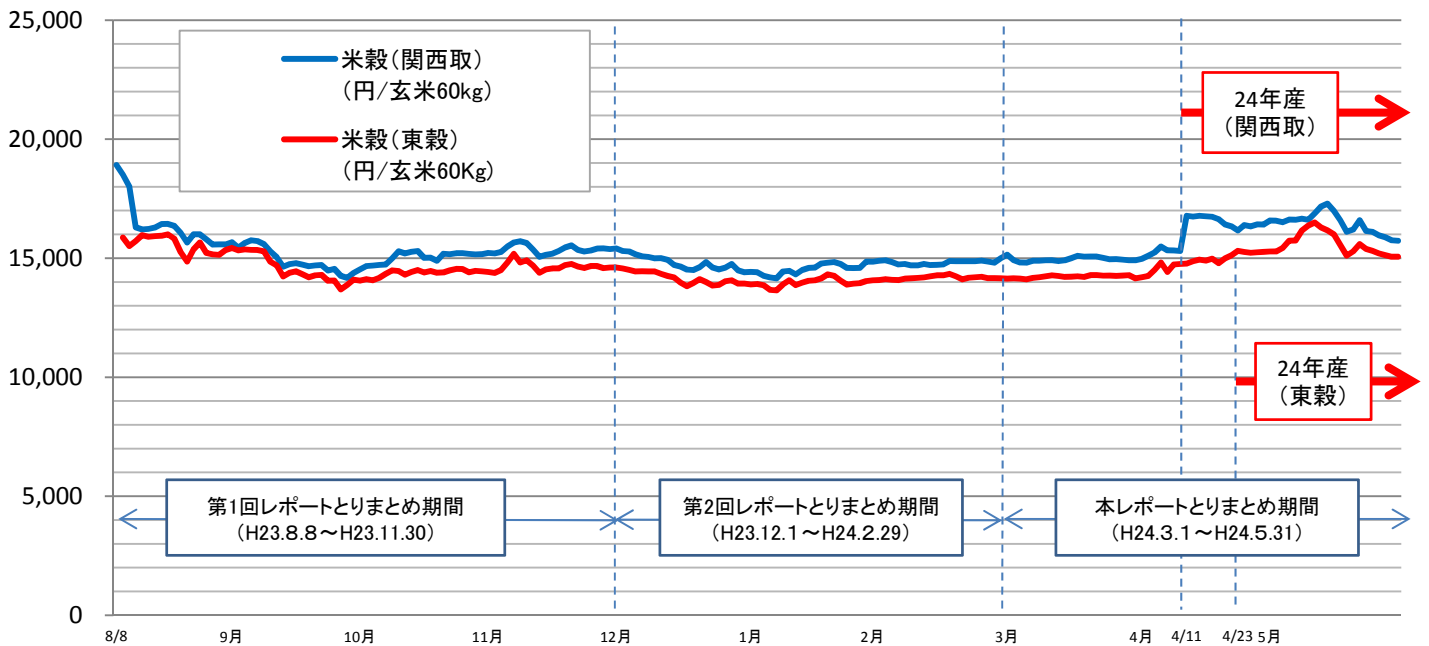


注:最終的に決済しなければならない期日が最も先の限月(期先限月)の始値(東穀の場合、1日の計算区域が、前営業日の夜間取引+当日の日中取引であり、夜間取引・日中取引を通じて最初に成立した値段。関西取の場合、前場1節において成立した値段。)、高値、安値、終値(東京穀物商品取引所の場合、終値又は帳入値)の推移を表している(新たな期先限月の取引開始後は当該限月の値段に切り替え。)

(参考) 東京穀物商品取引所・関西商品取引所の米穀の値動き(期先限月の終値)

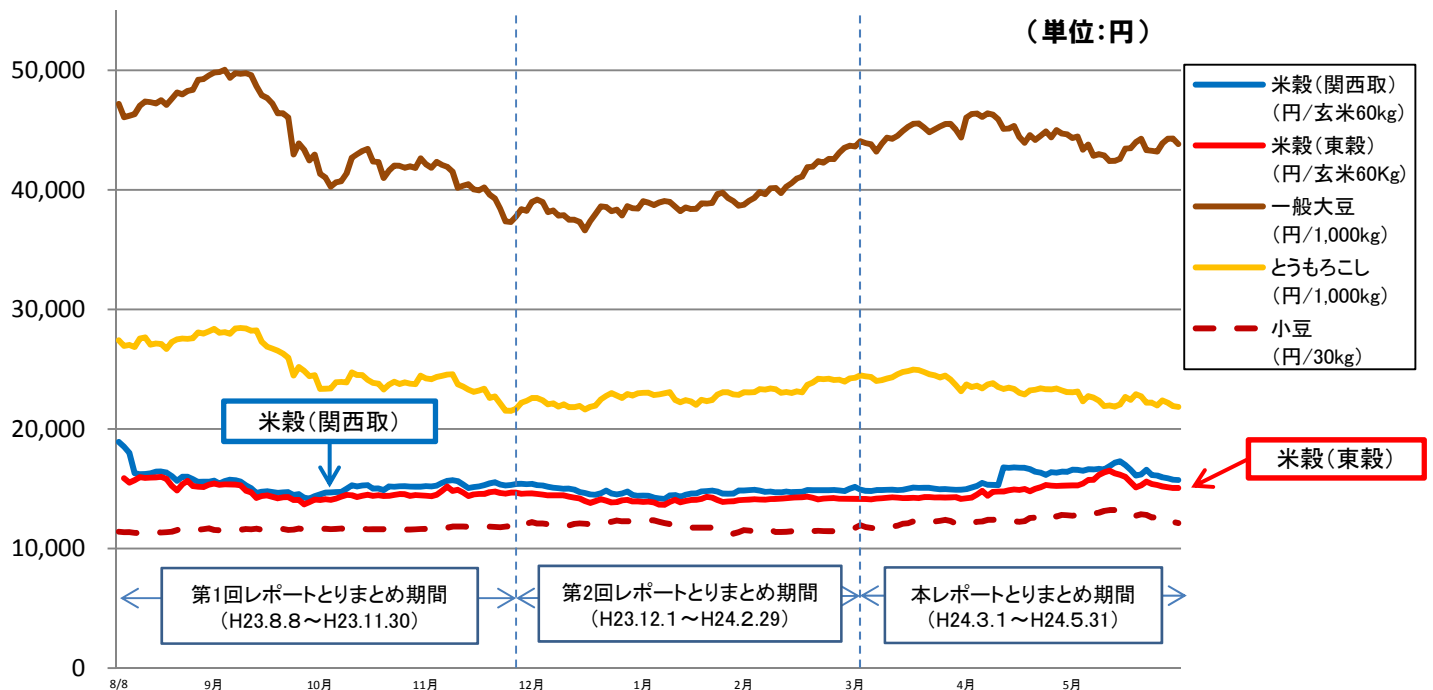
【平成23年8月8日～平成24年5月31日】

(単位:円/玄米60kg)



(参考) 東京穀物商品取引所の主要商品と米穀の値動き(期先限月の終値)

(単位:円)



注:最終的に決済しなければならない期日が最も先の限月(期先限月)の終値又は帳入値。

③ 値幅制限等の発動状況【平成23年8月8日～平成24年5月31日】

ア 東京穀物商品取引所(サーキットブレーカー(CB))

年月(営業日数)	発動数	発動日数	1日平均発動回数
平成23年8月(18日)	68回	13日	3.78
9月(20日)	8回	8日	0.40
10月(20日)	2回	2日	0.10
11月(20日)	5回	5日	0.25
12月(21日)	1回	1日	0.05
平成24年1月(19日)	7回	2日	0.37
2月(21日)	0回	0日	0.00
3月(21日)	0回	0日	0.00
4月(20日)	27回	10日	1.35
5月(21日)	41回	15日	1.95

(注)平成24年1月4日より、CB運用方法を変更。

イ 関西商品取引所(値幅制限)

年月(営業日数)	制限到達回数	制限到達日数	1日平均発動回数
平成23年8月(18日)	19回	9日	1.06
9月(20日)	12回	6日	0.60
10月(20日)	10回	5日	0.50
11月(20日)	2回	2日	0.10
12月(21日)	0回	0日	0.00
平成24年1月(19日)	0回	0日	0.00
2月(21日)	0回	0日	0.00
3月(21日)	0回	0日	0.00
4月(20日)	8回	3日	0.40
5月(21日)	10回	5日	0.48

注1:東京穀物商品取引所は、平成23年12月30日まではサーキットブレーカー(CB)発動回数。平成24年1月4日以降は、CBの運用方法の変更により、CBが発動した限月数。関西商品取引所は、終値が値幅制限に張り付いた限月数。

注2:東京穀物商品取引所のCBとは、値動きが一定幅に達した場合に、取引を一時停止し、市場の過熱を抑える仕組み。平成24年5月31日現在では、東京穀物商品取引所の1日の値幅は、最大で±600円/60kg以内。

注3:東京穀物商品取引所では、平成23年12月30日までは、1つの限月でCBが発動された場合、自動的に全ての限月でCBが発動されていたが、平成24年1月4日からは、値段が±600円(ただし、1回目は±300円)上昇又は下降した限月に限定してCBが発動する方式に変更。併せて、取引の停止時間を10分間から5分間に短縮。

注4:関西商品取引所の値幅制限とは、値動きが一定幅に達した場合に、その上限を超える又は下限を下回る価格で取引を成立させない仕組み。平成24年5月31日現在では、関西商品取引所の1日の値幅は、最大で±500円/60kg以内(通常、±300円/60kg。その後、順次±400円/60kg、±500円/60kgに拡大。)

注5:両取引所ともにCB・値幅制限の幅、適用・解除時期は商品ごとに異なり、CB・値幅制限の幅については、商品の値動き等を勘案し、取引所が変更することがあり得る。また、異常な価格変動が生じた場合等は、商品先物取引法第118条第2号の規定に基づく主務大臣の命令により取引所が制限幅を変更。


④ 各限月別の発会値段、最高値段、最低値段、納会・5月末値段

ア 東京穀物商品取引所(関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米)

【限月別の発会値段、最高値段、最低値段及び納会・5月末値段】

(単位:円/玄米60kg)

限月	発会値段 (年月日)	最高値段 (年月日)	最低値段 (年月日)	納会値段 (年月日)	5月末現在値段 (年月日)
23年11月限	17,400 (23.08.09)	17,730 (23.08.10)	13,320 (23.09.29)	14,500 (23.11.18)	取引終了
23年12月限	17,400 (23.08.09)	17,400 (23.08.09)	13,200 (23.09.29)	13,900 (23.12.20)	取引終了
24年1月限	17,280 (23.08.09)	17,400 (23.08.09)	13,120 (24.01.11)	13,700 (24.01.20)	取引終了
24年2月限	15,500 (23.08.22)	15,700 (23.08.26)	13,350 (23.09.29)	14,000 (24.02.20)	取引終了
24年3月限	14,200 (23.09.21)	15,240 (23.11.09)	13,360 (23.09.29)	14,410 (24.03.19)	取引終了
24年4月限	14,330 (23.10.21)	15,980 (24.04.16・17)	13,380 (24.01.11)	15,900 (24.04.20)	取引終了
24年5月限	14,700 (23.11.21)	17,940 (24.05.17・18)	13,440 (24.01.11)	17,940 (24.05.18)	取引終了
24年6月限	14,170 (23.12.21)	17,900 (24.05.15)	13,480 (24.01.11)	取引継続中	17,200 (24.05.31)
24年7月限	14,240 (24.01.23)	17,700 (24.05.16,17)	13,820 (24.01.26)	取引継続中	16,890 (24.05.31)
24年8月限	14,200 (24.02.21)	16,940 (24.05.16)	14,090 (24.03.07・ 24.04.02)	取引継続中	16,070 (24.05.31)
24年9月限	14,200 (24.03.21)	16,690 (24.05.14)	13,990 (24.04.02)	取引継続中	15,330 (24.05.31)
24年10月限	15,210 (24.04.23)	16,710 (24.05.15)	15,110 (24.05.31)	取引継続中	15,200 (24.05.31)
24年11月限	15,500 (24.05.21)	15,890 (24.05.23)	15,000 (24.05.24)	取引継続中	15,060 (24.05.31)
全期間		17,940 (24.05.17・18)	13,120 (24.01.11)		

 : 全レポート期間最高値

 : 全レポート期間最安値

注1:発会値段とは、発会日(東京穀物商品取引所は毎月21日、関西商品取引所は11日(休業日の場合は繰り下げ。))において取引が成立した最初の値段である。また、最高値段及び最低値段は各期間中に成立した最高及び最低の値段であり、P3に記載した終値の最高及び最低とは異なる。

注2:また、納会・5月末値段は、平成24年5月31日現在において、取引が終了している平成23年11月限～平成24年5月限については納会日(東京穀物商品取引所は毎月20日、関西商品取引所は毎月10日(休業日の場合は繰り上げ。))の終値であり、取引が継続中である平成24年6～11月限(青塗り)については平成24年5月31日現在の終値(ただし、東京穀物商品取引所の場合は、終値又は帳入値。)

イ 関西商品取引所(北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米)

【限月別の発会値段、最高値段、最低値段及び納会・5月末値段】

(単位:円/玄米60kg)

限月	発会値段 (年月日)	最高値段 (年月日)	最低値段 (年月日)	納会値段 (年月日)	5月末現在値段 (年月日)
23年11月限	14,320 (23.08.08)	16,060 (23.08.17)	14,320 (23.08.08)	15,540 (23.11.10)	取引終了
23年12月限	14,540 (23.08.08)	16,240 (23.08.11)	14,500 (23.09.21・22)	15,040 (23.12.09)	取引終了
24年1月限	19,210 (23.08.08)	19,210 (23.08.08)	13,700 (24.01.06・10)	13,700 (24.01.10)	取引終了
24年2月限	15,840 (23.08.11)	16,500 (23.08.17)	13,860 (23.09.29)	14,580 (24.02.10)	取引終了
24年3月限	15,100 (23.09.12)	15,740 (23.11.08)	13,960 (23.09.29)	14,930 (24.03.09)	取引終了
24年4月限	14,740 (23.10.11)	15,760 (23.11.08・09)	14,070 (24.01.10・11)	15,610 (24.04.10)	取引終了
24年5月限	15,640 (23.11.11)	17,440 (24.05.08)	14,060 (24.01.10・11)	17,390 (24.05.10)	取引終了
24年6月限	14,990 (23.12.12)	18,460 (24.05.17)	14,150 (24.01.06)	取引継続中	17,550 (24.05.31)
24年7月限	14,190 (24.01.11)	18,480 (24.05.17)	14,140 (24.01.11)	取引継続中	17,500 (24.05.31)
24年8月限	14,760 (24.02.13)	17,800 (24.05.17)	14,710 (24.02.14・15)	取引継続中	16,460 (24.05.31)
24年9月限	14,910 (24.03.12)	17,500 (24.05.17)	14,880 (24.03.13)	取引継続中	16,250 (24.05.31)
24年10月限	16,790 (24.04.11)	17,550 (24.05.17)	16,110 (24.05.31)	取引継続中	16,110 (24.05.31)
24年11月限	16,710 (24.05.11)	17,400 (24.05.16)	15,730 (24.05.31)	取引継続中	15,730 (24.05.31)
全期間		19,210 (23.08.08)	13,700 (24.01.06・10)		

: 全レポート期間最高値

: 全レポート期間最安値

注1:発会値段とは、発会日(東京穀物商品取引所は毎月21日、関西商品取引所は11日(休業日の場合は繰り下げ。))において取引が成立した最初の値段である。また、最高値段及び最低値段は各期間中に成立した最高及び最低の値段であり、P3に記載した終値の最高及び最低とは異なる。

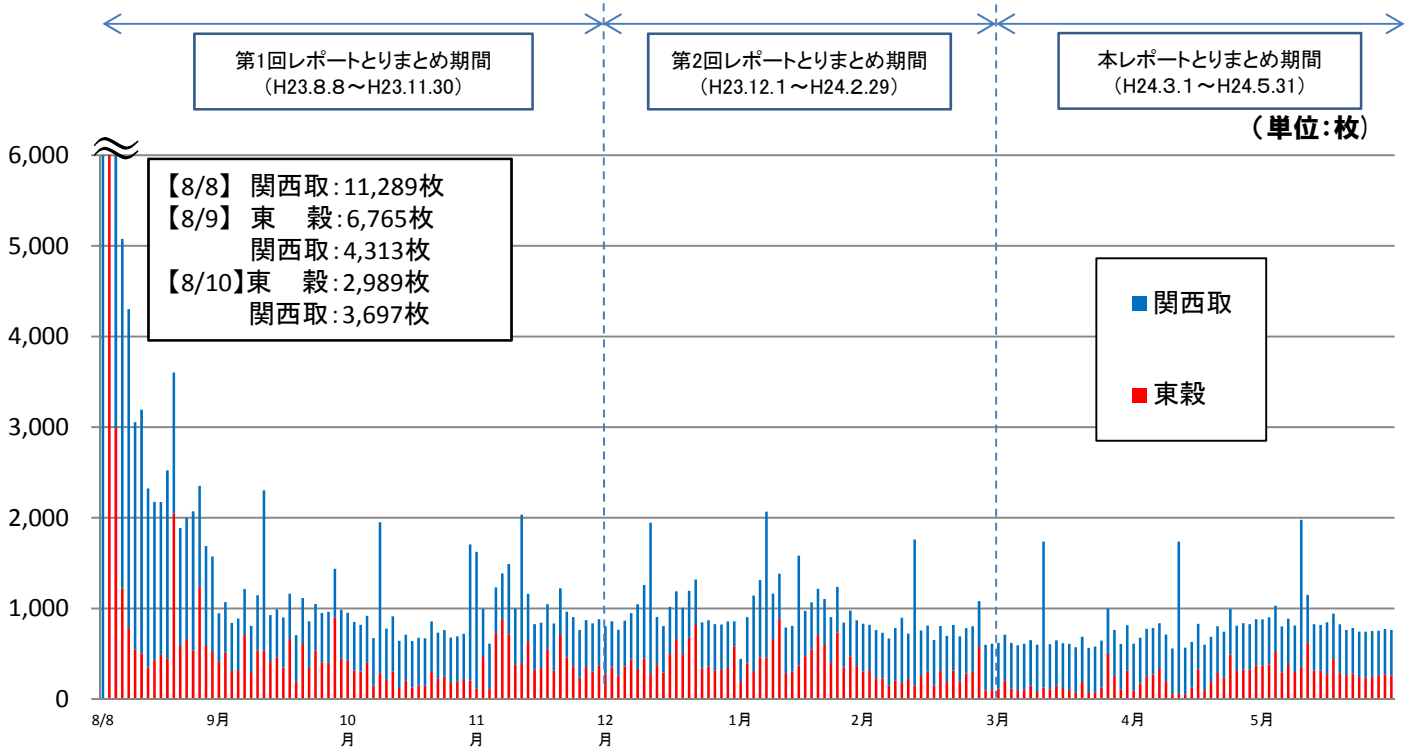
注2:また、納会・5月末値段は、平成24年5月31日現在において、取引が終了している平成23年11月限～平成24年5月限については納会日(東京穀物商品取引所は毎月20日、関西商品取引所は毎月10日(休業日の場合は繰り上げ。))の終値であり、取引が継続中である平成24年6～11月限(青塗り)については平成24年5月31日現在の終値(ただし、東京穀物商品取引所の場合は、終値又は帳入値。))。

(2) 取引量の動向

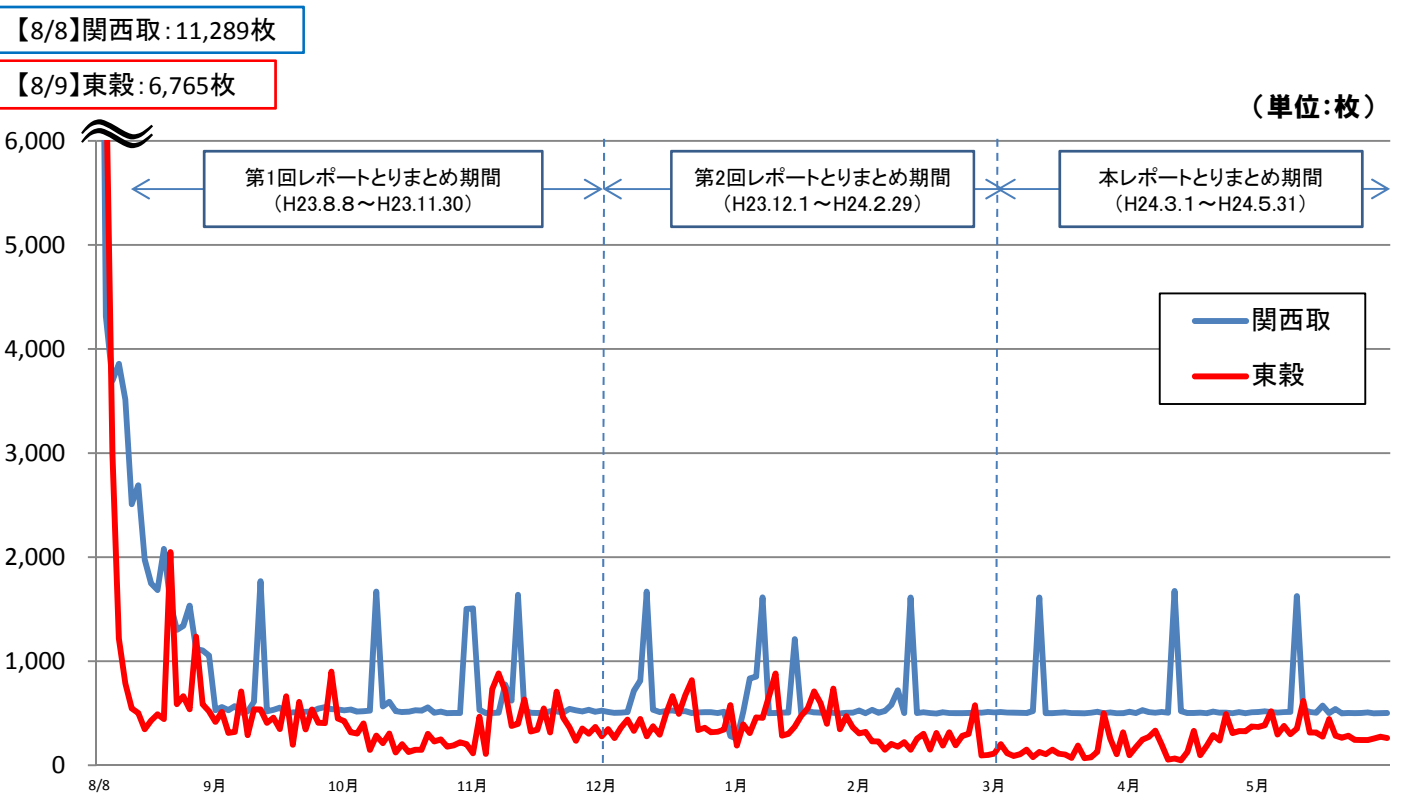
①-1 出来高(市場における注文成立数)の推移 【平成23年8月8日～平成24年5月31日】

枚:先物市場での取引単位であり、米穀の場合、東穀は玄米重量で6トン(100俵)で1枚、関西取は玄米重量で3トン(50俵)で1枚。

ア 出来高の推移(東穀、関西取合計)



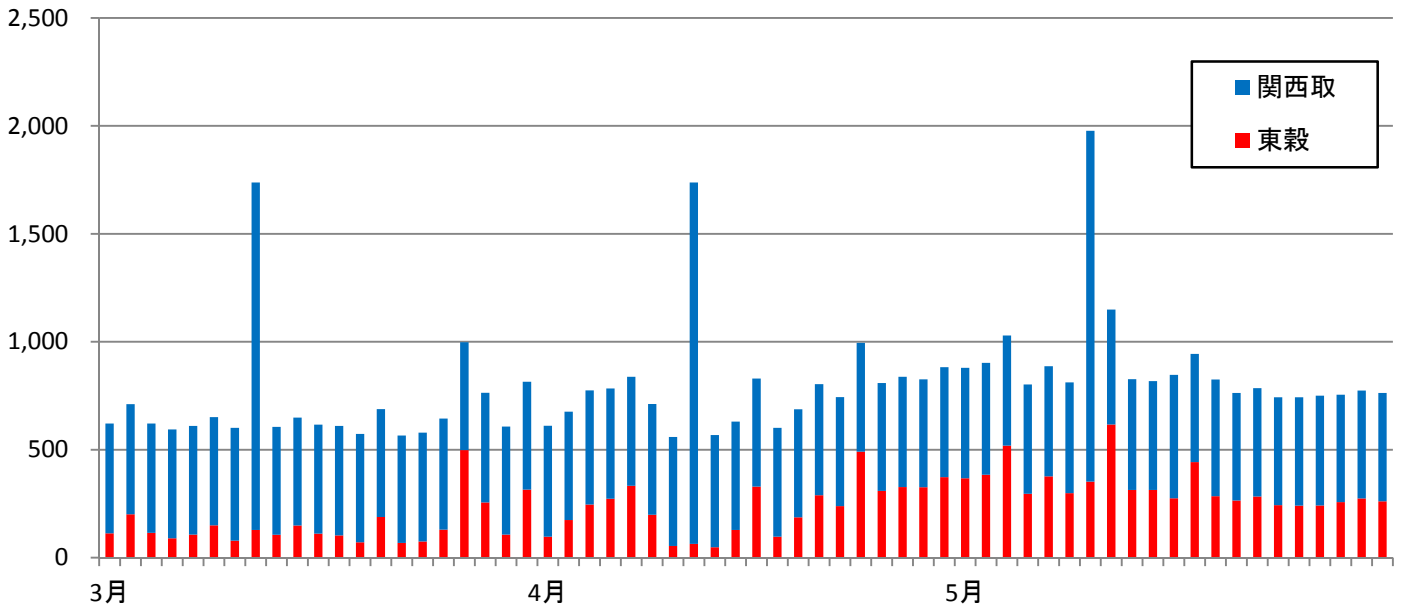
イ 取引所別の出来高の推移



①-2 出来高(市場における注文成立数)の推移【平成24年3月1日～平成24年5月31日】

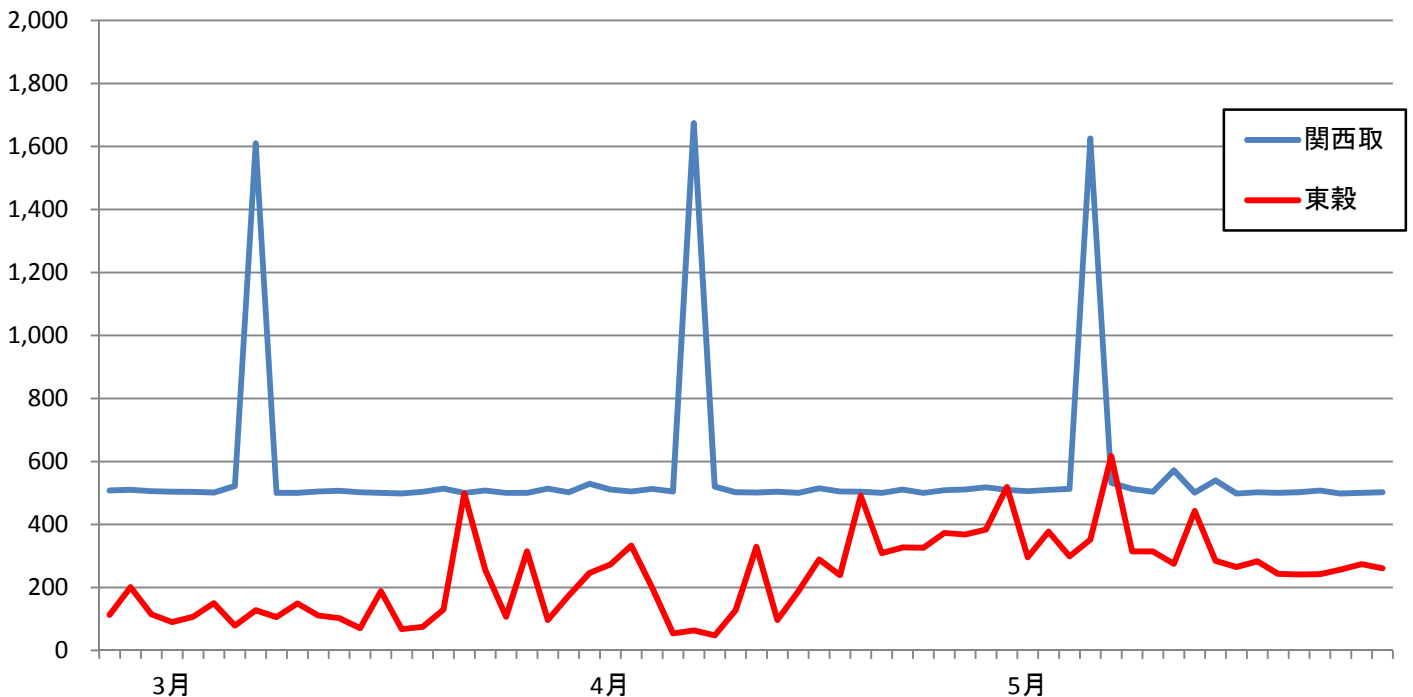
ア 出来高の推移(東穀、関西取合計)

(単位:枚)



イ 取引所別の出来高の推移

(単位:枚)



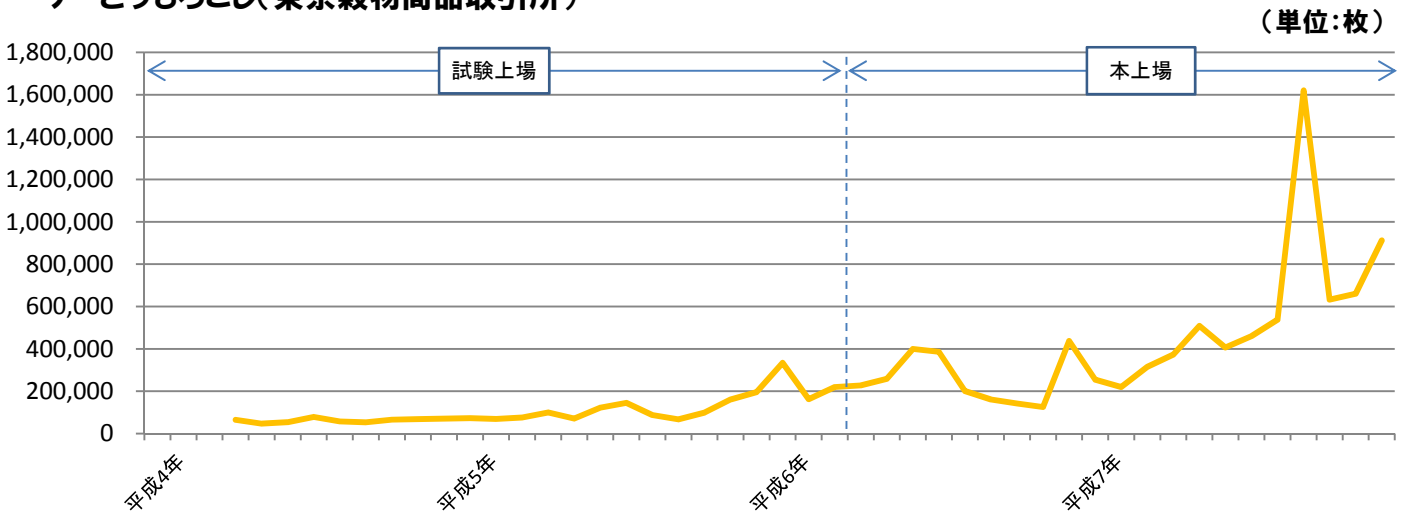
(参考)

標準品：東京穀物商品取引所は、茨城、栃木及び千葉のコシヒカリを標準品として取引を実施。関西商品取引所は、石川及び福井のコシヒカリを標準品として取引を実施（東京穀物商品取引所・関西商品取引所ともに玄米1等合格品。）。

限月：両取引所ともに、受渡月の異なる6限月（例えば、12月に決済期限が到来するものを12月限といい、1の限月と数える。）の米穀を取引。最長6ヶ月先（平成24年5月31日現在では、6月限、7月限、8月限、9月限、10月限、11月限が上場。）の限月の米穀を取引。

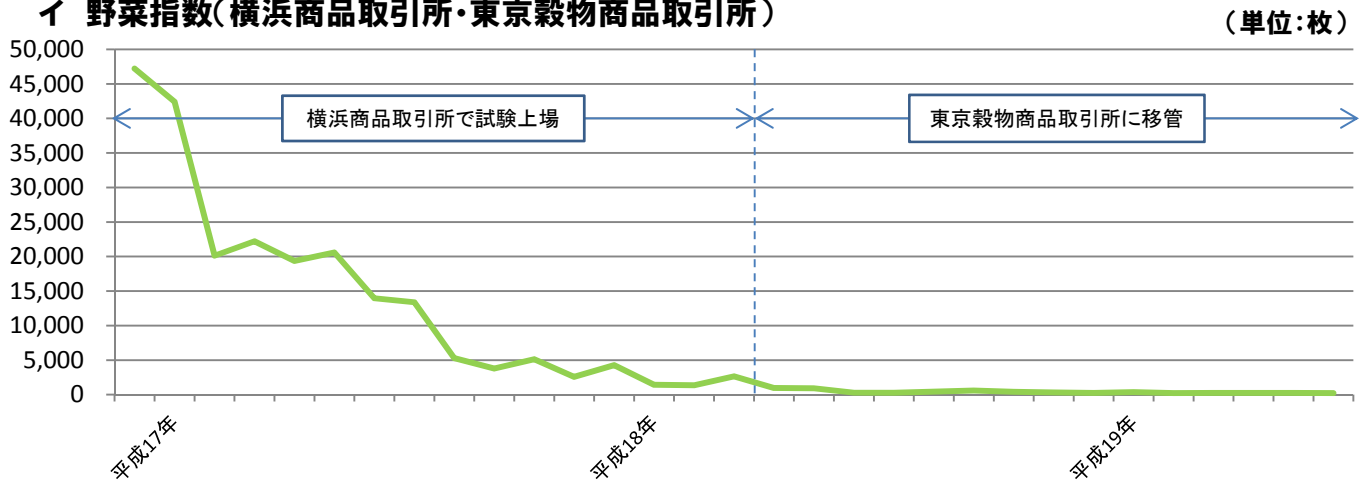
(参考) 過去の新規上場後の出来高推移の例

ア とうもろこし(東京穀物商品取引所)



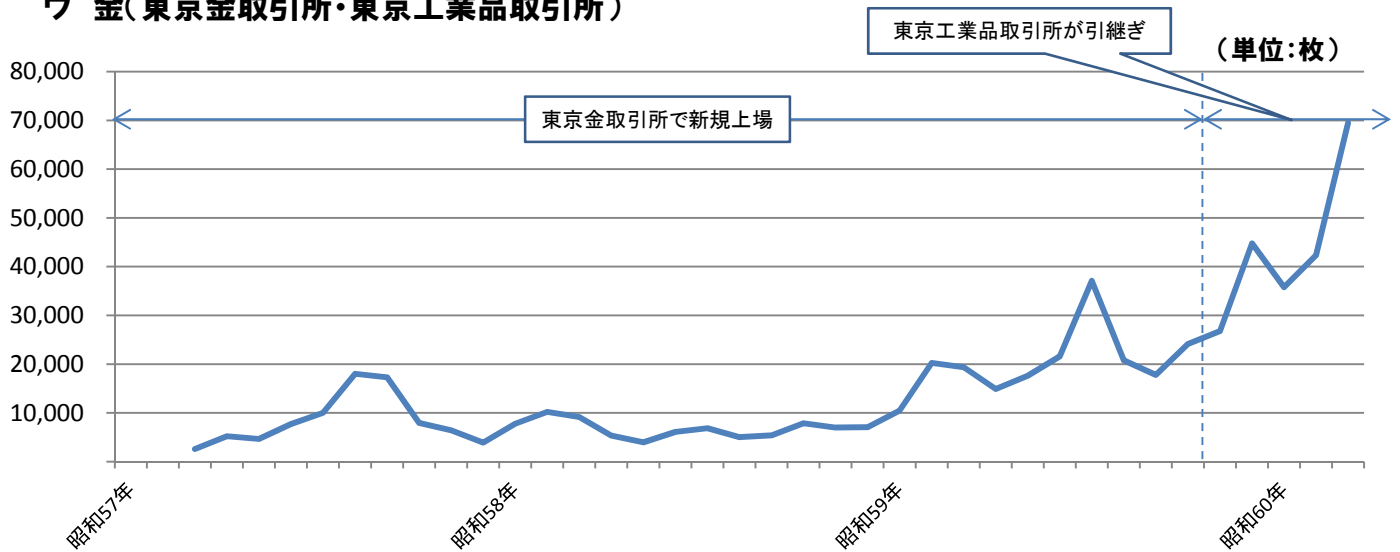
注:平成4年4月に試験上場し、平成6年4月に本上場。

イ 野菜指数(横浜商品取引所・東京穀物商品取引所)



注:平成16年12月に横浜商品取引所で試験上場し、平成18年4月に東京穀物商品取引所に移管。

ウ 金(東京金取引所・東京工業品取引所)



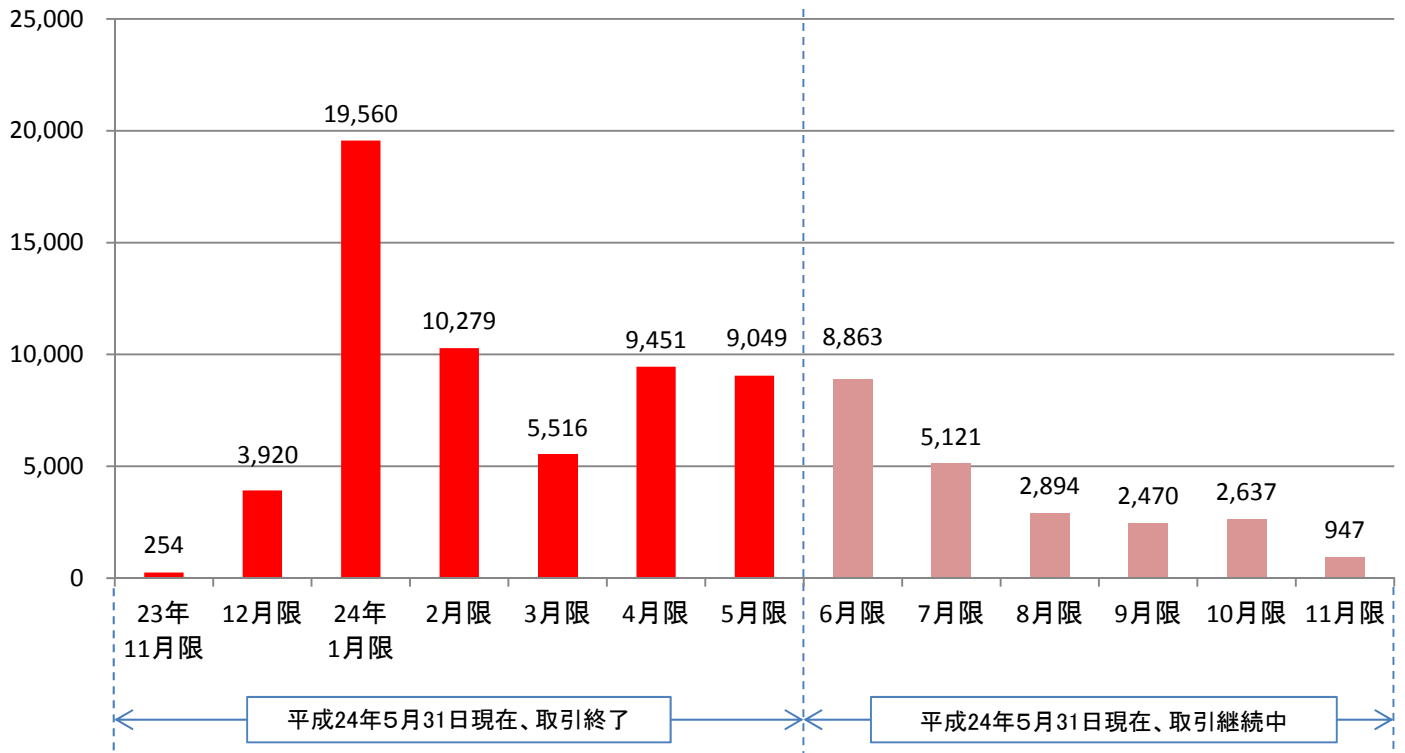
注:昭和57年3月に東京金取引所で新規上場し、昭和59年11月に東京繊維商品取引所・東京ゴム取引所・東京金取引所の統合により設立された東京工業品取引所に引き継がれている。

資料: 社団法人全国商品取引所連合会「商品取引所年報」

② 限月別の出来高状況(各限月の発会日～平成24年5月31日までの累積値)

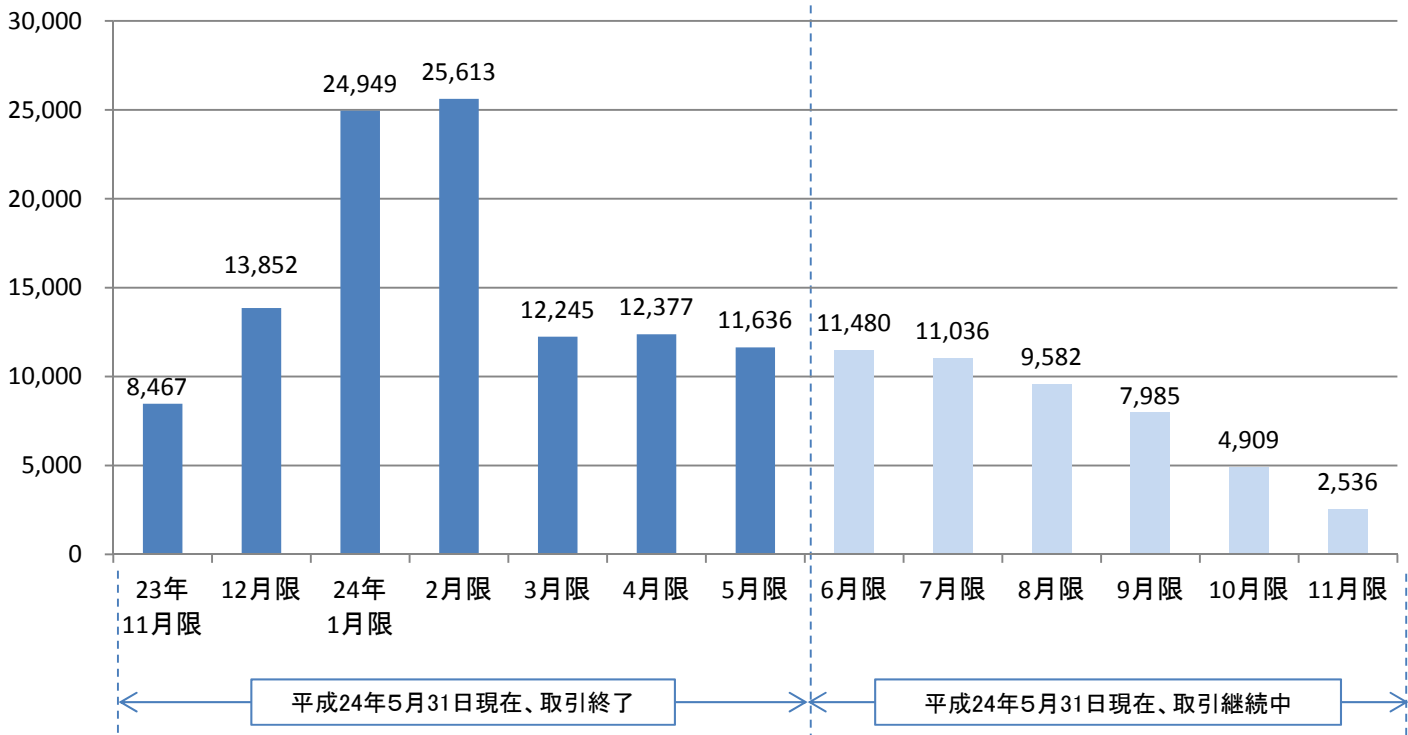
ア 東京穀物商品取引所

(単位:枚)



イ 関西商品取引所

(単位:枚)



注1:平成24年6月限～11月限については、平成24年5月31日現在、取引中であるため、各限月の発会日(東京穀物商品取引所は毎月21日、関西商品取引所は毎月11日(休業日の場合は繰り下げ。))から平成24年5月31日までの各限月の出来高の累積値を表しており、各限月で実際に取引された日数が異なる。

注2:平成23年11月限～平成24年5月限については、すでに取引が終了しているため、各限月の発会日から納会日(東京穀物商品取引所は毎月20日、関西商品取引所は毎月10日(休業日の場合は繰り上げ。))までの出来高の累積値。

③ 他の主要商品と米穀の出来高合計の比較【平成23年8月8日～平成24年5月31日】

ア 東京穀物商品取引所

【平成23年8月8日～平成24年5月31日(201営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	80,961	403	6,765	0
とうもろこし	453,605	2,257	6,015	693
一般大豆	486,182	2,419	8,304	804
小豆	93,587	466	1,839	73
アラビカコーヒー	5,572	28	239	0
粗糖	29,003	144	1,584	4

【3月(21営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	3,160	150	498	68
とうもろこし	40,351	1,921	4,085	1,083
一般大豆	41,826	1,992	4,676	1,230
小豆	12,282	585	1,307	243
アラビカコーヒー	483	23	138	0
粗糖	3,144	150	1,560	6

【4月(20営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	4,583	229	491	48
とうもろこし	36,329	1,816	4,499	693
一般大豆	41,521	2,076	4,649	1,220
小豆	11,988	599	1,215	225
アラビカコーヒー	309	15	75	2
粗糖	1,026	51	106	6

【5月(21営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	6,909	329	617	241
とうもろこし	32,446	1,545	3,140	795
一般大豆	35,396	1,686	3,246	804
小豆	12,431	592	1,503	179
アラビカコーヒー	211	10	30	1
粗糖	1,553	74	225	30

注:出来高合計、1日平均(小数点以下は四捨五入)、最高、最低出来高は、出来高の状況を平成23年8月8日～平成24年5月31日までの期間及び平成24年3月～平成24年5月までの各1か月間ごとに取りまとめたものである。最高又は最低出来高は、各期間中の1日の出来高のうち最高又は最低のもの。

イ 関西商品取引所

【平成23年8月8日～平成24年5月31日(201営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	156,667	779	11,289	254
とうもろこし	41,310	206	304	99
米国産大豆	2,395	12	12	6
小豆	6,066	30	374	6
粗糖	2,395	12	12	6
冷凍えび	2,390	12	12	6
コーヒー指数	1,039	6	10	1
国際穀物等指数	2,395	12	12	6

※コーヒー指数は平成23年8月8日～平成24年5月10日(186営業日)

【3月(21営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	11,702	557	1,610	498
とうもろこし	4,306	205	226	204
米国産大豆	252	12	12	12
小豆	732	35	374	16
粗糖	251	12	12	11
冷凍えび	251	12	12	11
コーヒー指数	55	3	4	2
国際穀物等指数	251	12	12	11

【4月(20営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	11,324	566	1,674	500
とうもろこし	4,178	209	302	201
米国産大豆	239	12	12	11
小豆	358	18	18	16
粗糖	240	12	12	12
冷凍えび	239	12	12	11
コーヒー指数	40	2	2	2
国際穀物等指数	240	12	12	12

【5月(21営業日)】 ※コーヒー指数の取引は5月10日まで(6営業日)

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	11,865	565	1,625	498
とうもろこし	4,306	205	226	204
米国産大豆	252	12	12	12
小豆	732	35	374	16
粗糖	251	12	12	11
冷凍えび	251	12	12	11
コーヒー指数	11	2	2	1
国際穀物等指数	251	12	12	11

注:出来高合計、1日平均(小数点以下は四捨五入)、最高、最低出来高は、出来高の状況を平成23年8月8日～平成24年5月31日までの期間及び平成24年3月～平成24年5月までの各1か月間ごとに取りまとめたものである。最高又は最低出来高は、各期間中の1日の出来高のうち最高又は最低のもの。

④ 海外からの取引参加状況(東京穀物商品取引所)

(単位:枚)

		米国	シンガポール	合計
平成23年8月	売	86	128	214
	買	39	128	167
9月	売	51	0	51
	買	44	0	44
10月	売	0	0	0
	買	37	0	37
11月	売	0	0	0
	買	11	0	11
12月	売	0	0	0
	買	6	0	6
平成24年1月	売	0	0	0
	買	0	0	0
2月	売	0	0	0
	買	0	0	0
3月	売	0	0	0
	買	1	0	1
4月	売	0	0	0
	買	0	0	0

注1:東京穀物商品取引所において取引を行っている海外の商品先物取引業者(外国において商品先物取引法第190条第1項の規定による許可に相当する許可を受けている者又はこれに準ずる者)のうち、取引所において把握している者の出来高である。

注2:関西商品取引所においては、平成24年5月31日現在、海外の商品先物取引業者のうち、取引所において把握している者の取引実績はない。

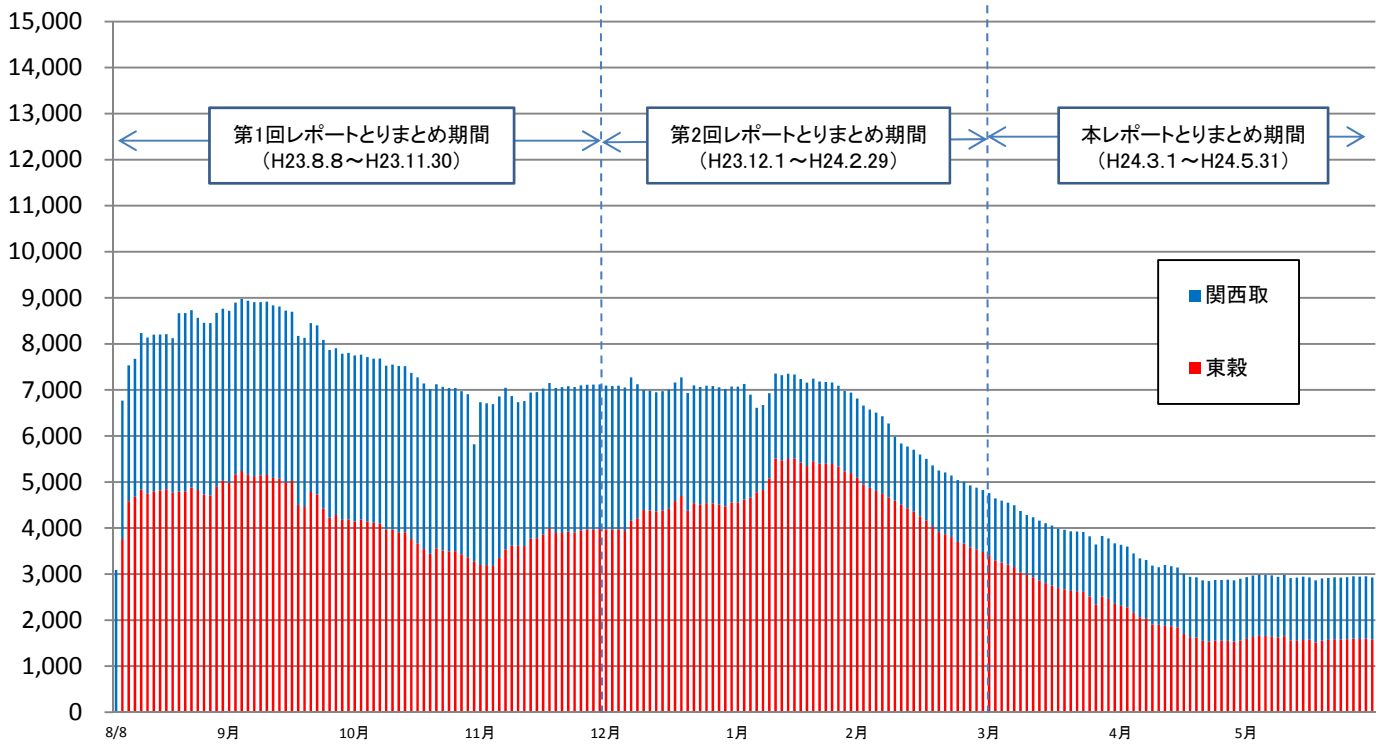
(3) 取組高、取引参加者の動向

取組高：商品市場で成立した注文のうち、まだ、決済されず、市場に残っている売買契約数量(売り・買いセットで1枚とカウント)。

①-1 取組高(東穀、関西取合計)の推移

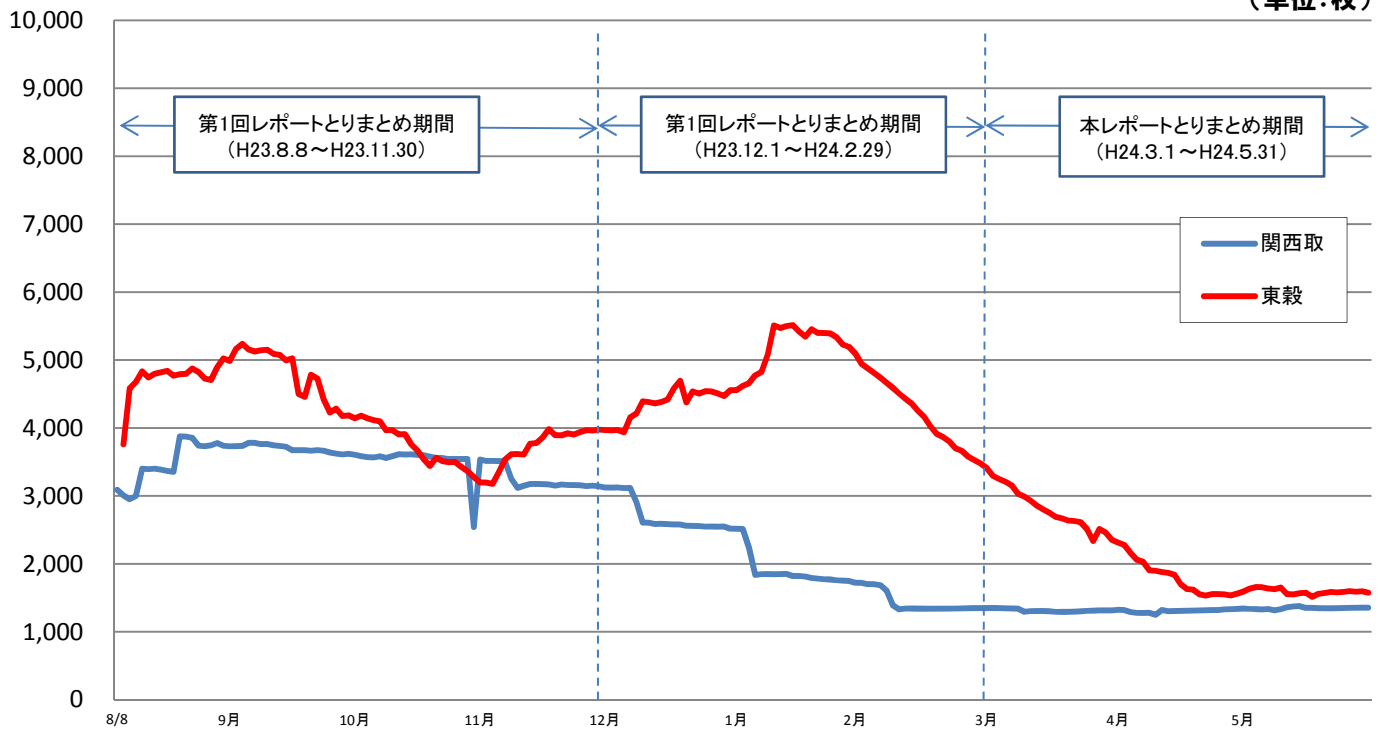
【平成23年8月8日～平成24年5月31日】

(単位:枚)



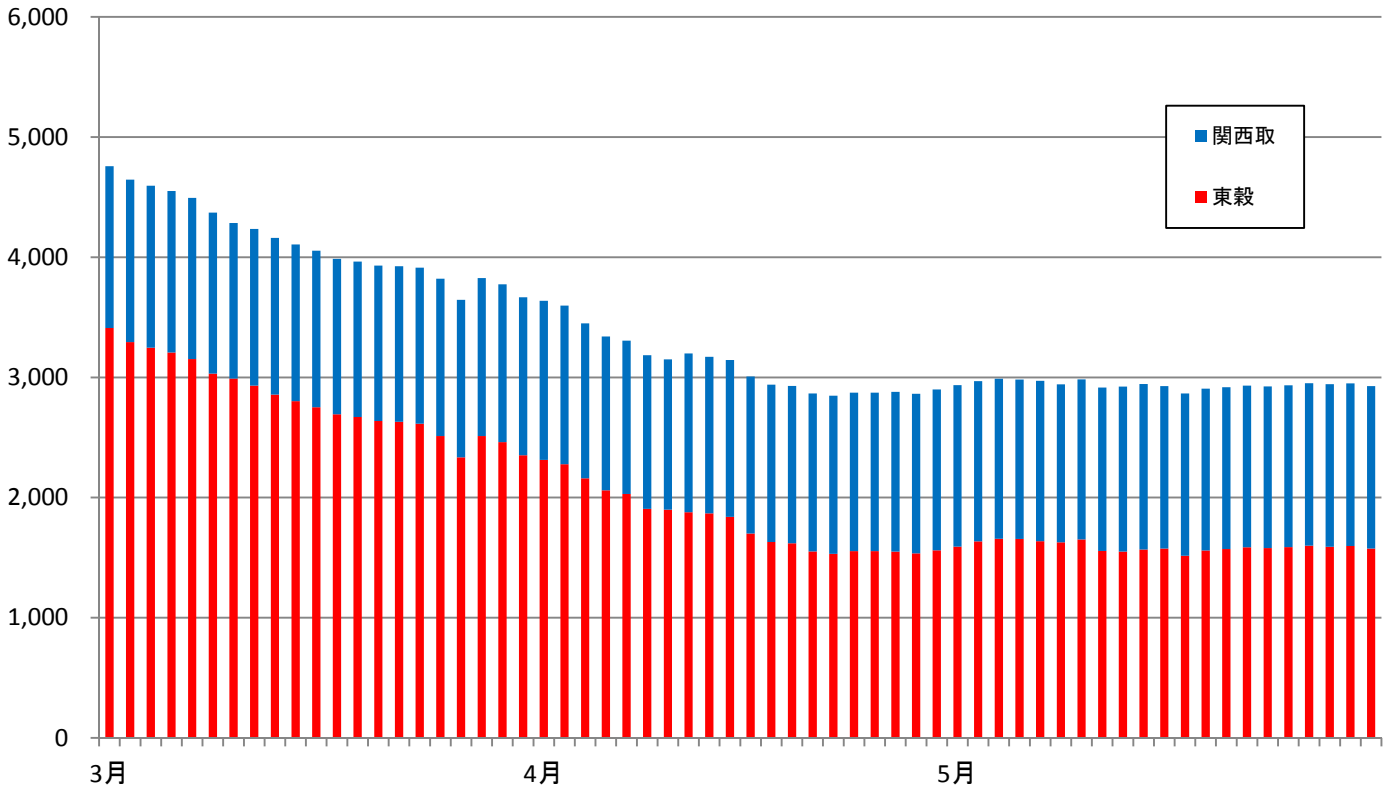
②-1 取引所別の取組高の推移【平成23年8月8日～平成24年5月31日】

(単位:枚)



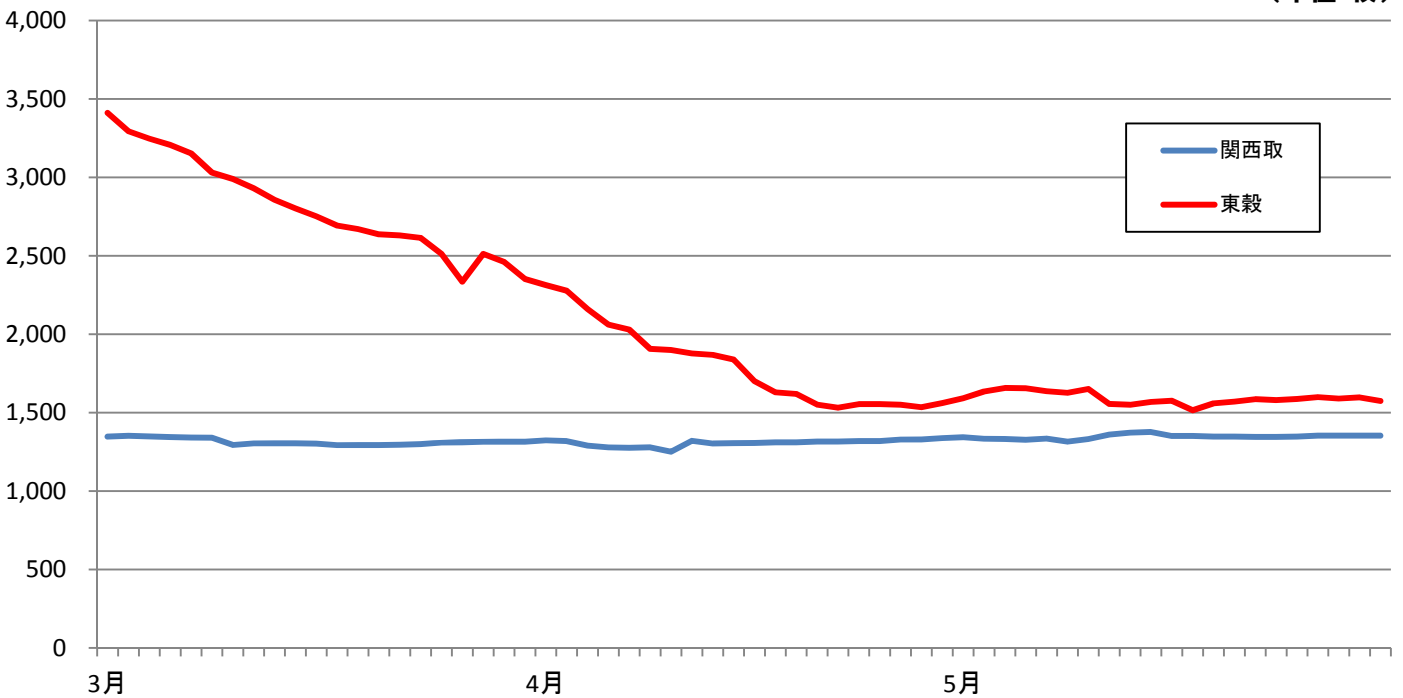
①-2 取組高(東穀、関西取合計)の推移【平成24年3月1日～5月31日】

(単位:枚)



②-2 取引所別の取組高の推移【平成24年3月1日～5月31日】

(単位:枚)



③ 限月別の取組高の状況

ア 東京穀物商品取引所

(単位:枚)

	23年 11月限	12月限	24年 1月限	2月限	3月限	4月限	5月限	6月限	7月限	8月限	9月限	10月限	11月限	合計
平成23年 8月31日	78	792	2,358	1,797	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5,025
9月30日	76	515	1,298	1,340	956	-	-	-	-	-	-	-	-	4,185
10月31日	51	393	904	582	845	503	-	-	-	-	-	-	-	3,278
11月30日	-	348	807	457	544	1,321	500	-	-	-	-	-	-	3,977
12月30日	-	-	345	351	516	1,213	1,489	642	-	-	-	-	-	4,556
平成24年 1月31日	-	-	-	255	457	1,058	1,120	1,544	761	-	-	-	-	5,195
2月29日	-	-	-	-	295	480	697	1,259	450	298	-	-	-	3,479
3月30日	-	-	-	-	-	306	488	821	224	351	162	-	-	2,352
4月27日	-	-	-	-	-	-	193	528	178	332	199	131	-	1,561
5月31日	-	-	-	-	-	-	-	331	166	147	223	517	191	1,575

イ 関西商品取引所

(単位:枚)

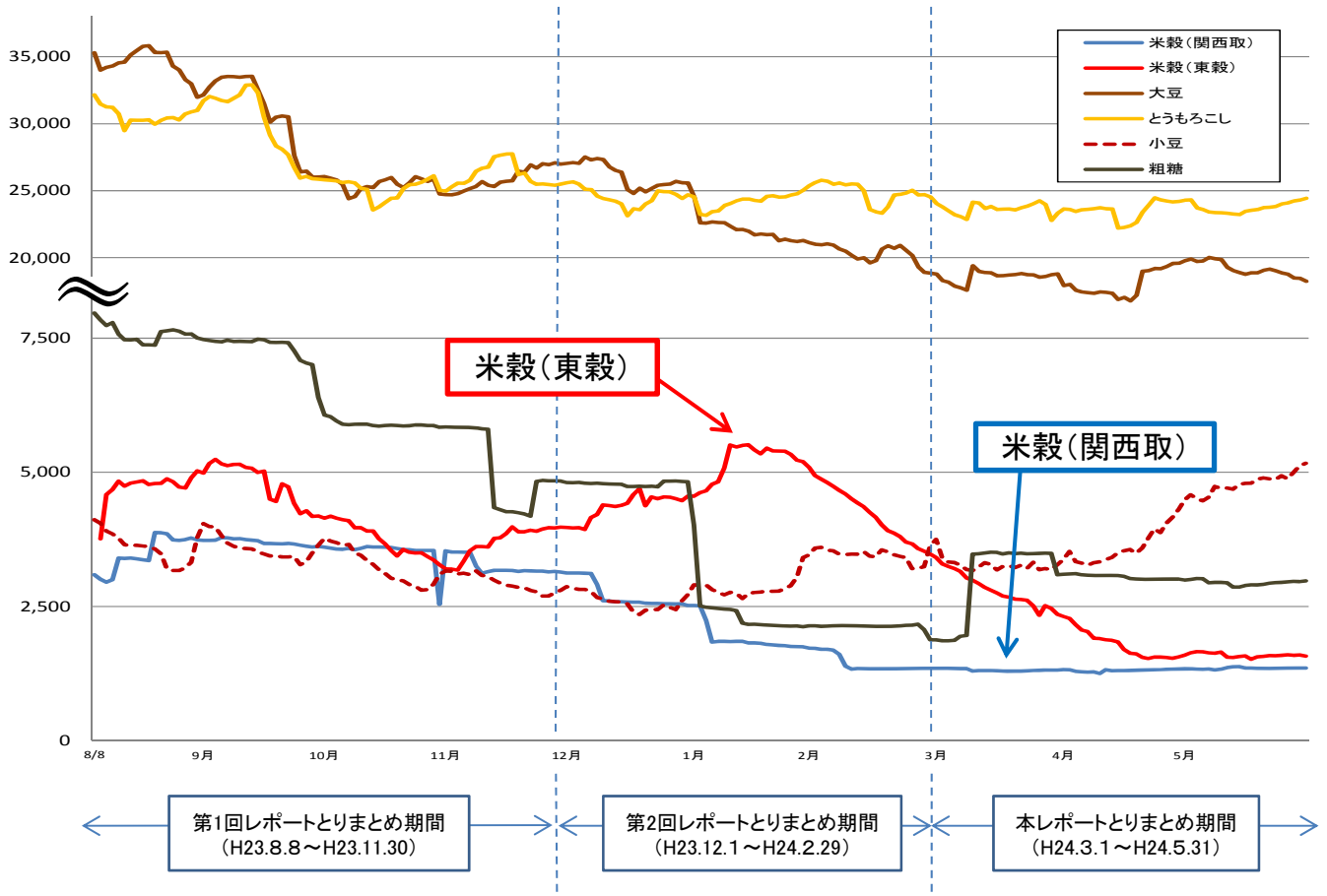
	23年 11月限	12月限	24年 1月限	2月限	3月限	4月限	5月限	6月限	7月限	8月限	9月限	10月限	11月限	合計
平成23年 8月31日	421	502	806	2,009	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,738
9月30日	381	502	729	1,378	630	-	-	-	-	-	-	-	-	3,620
10月31日	385	500	682	724	139	110	-	-	-	-	-	-	-	2,540
11月30日	-	499	632	695	86	615	615	-	-	-	-	-	-	3,142
12月30日	-	-	597	604	75	65	591	586	-	-	-	-	-	2,518
平成24年 1月31日	-	-	-	407	74	64	41	600	562	-	-	-	-	1,748
2月29日	-	-	-	-	59	63	40	50	562	572	-	-	-	1,346
3月30日	-	-	-	-	-	57	50	50	12	584	561	-	-	1,314
4月27日	-	-	-	-	-	-	41	46	14	24	570	643	-	1,338
5月31日	-	-	-	-	-	-	-	25	12	23	18	691	584	1,353

注:各限月ごとの各月末日の取組高を表している。

④ 東京穀物商品取引所の主要商品と米穀の取組高の推移

【平成23年8月8日～平成24年5月31日】

(単位:枚)



(参考)

建玉制限：取引所において、以下のとおり一般投資家一人当たりの取引数量（建玉数）を制限。

【東京穀物商品取引所】

- 1 番限 300枚（7月限、8月限及び9月限の場合100枚）
- 2 番限 500枚
- 3 番限 1,000枚
- 4 番限以降 2,000枚

【関西商品取引所】

- 1 番限 100枚
- 2 番限 350枚
- 3 番限 500枚
- 4 番限 1,500枚
- 5 番限以降 2,000枚

※ 上記は一般投資家の売り又は買いのそれぞれの建玉上限。当業者、商品先物取引業者等については制限を緩和。

※ 1番限とは、最も早く決済期限が到来するものであり、1番限から決済期限がより先のものに向かって2番限、3番限と数える。平成24年5月31日現在、米穀の場合は、1番限が6月限、2番限が7月限、3番限が8月限、4番限が9月限、5番限が10月限、6番限が11月限。

(4) 現物受渡しの状況【平成23年8月8日～平成24年5月31日】

米先物取引の試験相場においては、実際に米穀を受け渡すことにより、取引を決済することが可能。
平成23年8月8日から平成24年5月31日までの受渡し状況は以下のとおり。

ア 東京穀物商品取引所

限月	銘柄	取引枚数(玄米重量)	備考
平成23年11月限	コシヒカリ(茨城県産)	8枚(48トン)	うち、2枚(12トン)は早受渡し
	コシヒカリ(福島県会津産)	10枚(60トン)	
12月限	はえぬき(山形県産)	10枚(60トン)	早受渡し
	コシヒカリ(福島県中通り産)	112枚(672トン)	
平成24年1月限	コシヒカリ(福島県中通り産)	30枚(180トン)	うち、24枚(144トン)は早受渡し
2月限	コシヒカリ(福島県中通り産)	20枚(120トン)	うち、14枚(84トン)は早受渡し
3月限	コシヒカリ(福島県中通り産)	32枚(192トン)	早受渡し
	コシヒカリ(福島県会津産)	18枚(108トン)	
4月限	コシヒカリ(福島県会津産)	26枚(156トン)	うち、8枚(48トン)は早受渡し
5月限	コシヒカリ(福島県会津産)	6枚(36トン)	
6月限	コシヒカリ(福島県浜通り産)	2枚(12トン)	合意早受渡し
平成23年8月8日以降の累積値		274枚(1644トン)	うち、92枚(552トン)は早受渡し又は合意早受渡し

注1:取引枚数1枚は、東京穀物商品取引所では6トン(玄米)。

注2:早受渡しとは、納会日前に、受方又は渡方が取引所に申出を行い、それに対して渡方又は受方から応諾があった場合、納会日前に受渡しを成立させる制度。

注3:合意早受渡しとは、受渡当事者間の合意により、受渡銘柄・受渡場所・受渡日などを自由に設定できる制度。

(参考)

受渡供用品：現物の受渡しは、以下の銘柄について、あらかじめ設定された価格調整表に基づき標準品（東穀は、茨城、栃木及び千葉コシヒカリ）に対して増額又は減額した価格で受渡しが可能（平成24年5月31日現在）。

東京穀物商品取引所：

コシヒカリ（福島（会津・中通り・浜通り）、新潟、富山、石川、福井、長野、茨城、栃木、千葉、その他府県産）※その他府県産は、平成24年10月限以降に適用。

ひとめぼれ（岩手、宮城）、あきたこまち（秋田）、はえぬき（山形）、きらら397・ななつぼし（北海道）、つがるロマン・まっしぐら（青森）

イ 関西商品取引所

限月	銘柄	取引枚数(玄米重量)	備考
平成23年11月限	コシヒカリ(埼玉県産)	10枚(30トン)	
	コシヒカリ(福島県会津産)	4枚(12トン)	
12月限	コシヒカリ(福島県会津産)	5枚(15トン)	
平成24年1月限	コシヒカリ(福島県会津産)	39枚(117トン)	
	コシヒカリ(福島県中通り産)	17枚(51トン)	
2月限	コシヒカリ(福島県会津産)	52枚(156トン)	うち、2枚(6トン)は早受渡し
	コシヒカリ(福島県中通り産)	90枚(270トン)	うち、83枚(249トン)は早受渡し
3月限	コシヒカリ(福島県中通り産)	12枚(36トン)	うち、4枚(12トン)は早受渡し
	コシヒカリ(福島県会津産)	18枚(54トン)	
4月限	コシヒカリ(福島県中通り産)	9枚(27トン)	うち、4枚(12トン)は早受渡し
	コシヒカリ(福島県会津産)	20枚(60トン)	
5月限	コシヒカリ(福島県中通り産)	1枚(3トン)	
	コシヒカリ(福島県会津産)	8枚(24トン)	
	コシヒカリ(埼玉県産)	1枚(3トン)	
平成23年8月8日以降の累積値		286枚(858トン)	うち、93枚(279トン)は早受渡し

注1:取引枚数1枚は、関西商品取引所では3トン(玄米)。

注2:早受渡しとは、納会日前に、受方又は渡方が取引所に申出を行い、それに対して渡方又は受方から応諾があった場合、納会日前に受渡しを成立させる制度。

(参考)

受渡供用品：現物の受渡しは、以下の銘柄について、あらかじめ設定された価格調整表に基づき標準品（関西取は、石川及び福井コシヒカリ）に対して増額又は減額した価格で受渡しが可能（平成24年5月31日現在）。

関西商品取引所：コシヒカリ（全国）

(5) 取引参加者の構成

① 当業者・非当業者の割合

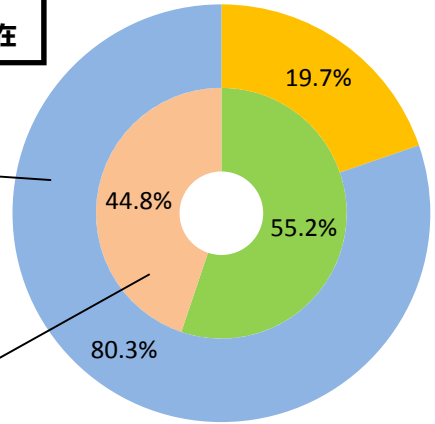
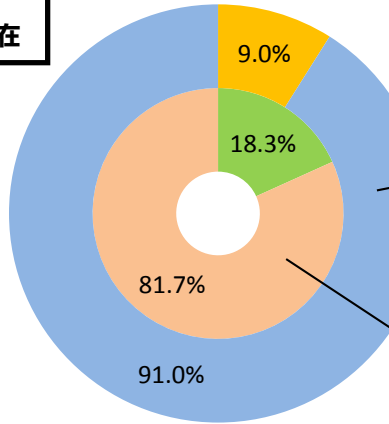
当業者(定義):米の売買、売買の媒介、取次ぎ若しくは代理、生産、加工又は使用を業として行っている者(生産者、卸・小売業者、米加工品製造業者、外食事業者等)。

ア 東京穀物商品取引所

イ 関西商品取引所

平成23年
12月30日現在

平成23年
12月30日現在



【外側】
総建玉に占める当業者・
非当業者の割合

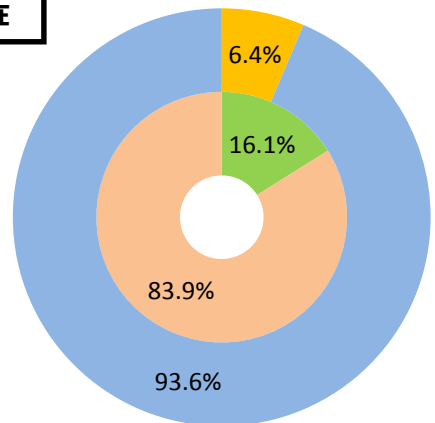
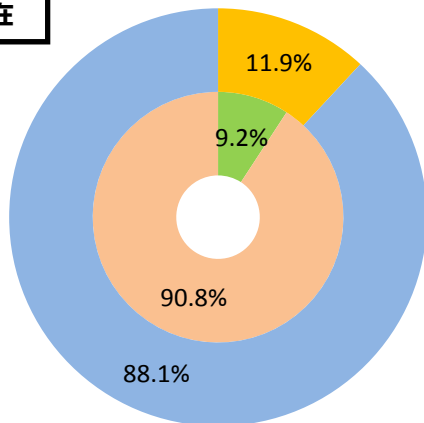
■ 当業者(総建玉ベース)
■ 非当業者(総建玉ベース)

【内側】
期近限月に占める当業
者・非当業者の割合

■ 当業者(期近ベース)
■ 非当業者(期近ベース)

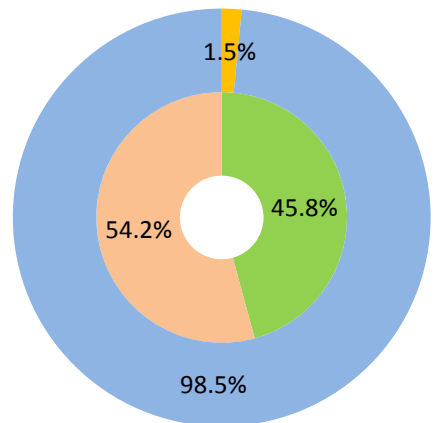
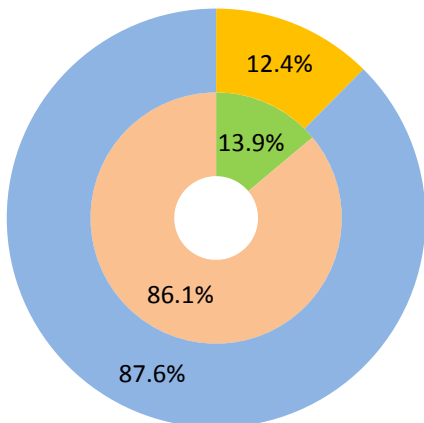
平成24年
1月31日現在

平成24年
1月31日現在



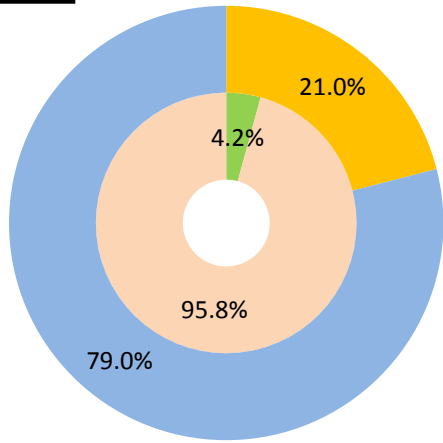
2月29日現在

2月29日現在

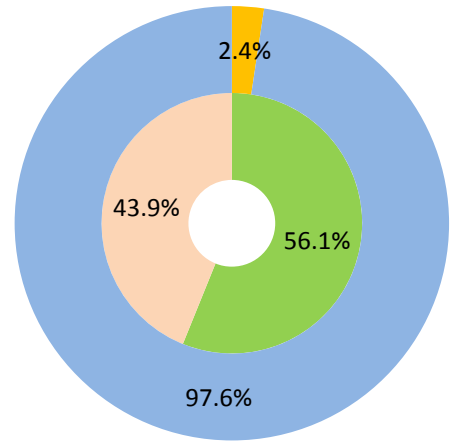


注:東京穀物商品取引所及び関西商品取引所において把握している当業者・非当業者の割合を表している。

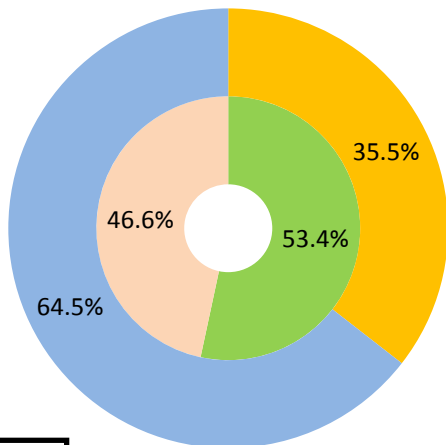
3月30日現在



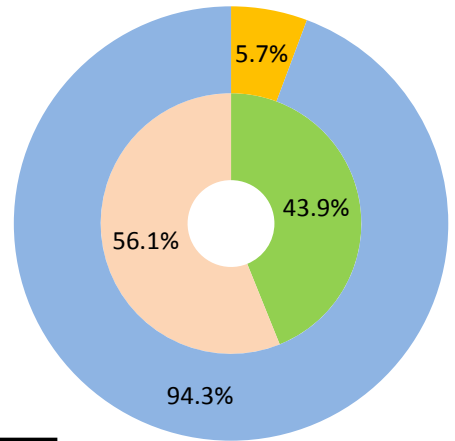
3月30日現在



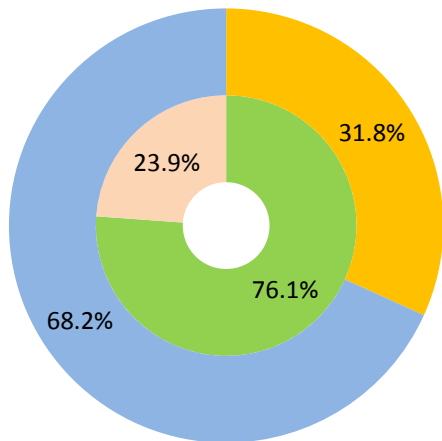
4月27日現在



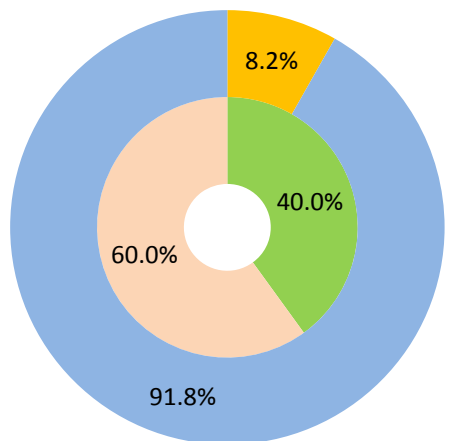
4月27日現在



5月31日現在



5月31日現在



注：東京穀物商品取引所及び関西商品取引所において把握している当業者・非当業者の割合を表している。

② 建玉報告対象者の割合

建玉報告対象者：米穀の先物市場においては、21枚以上（東穀は玄米重量で126トン、関西取は玄米重量で63トン）の建玉を有する者。

ア 東京穀物商品取引所(平成24年5月31日現在)

(単位:枚)

	売		買	
	枚数	割合	枚数	割合
全取引参加者の総建玉数	1,575	100.0%	1,575	100.0%
うち建玉報告対象者の建玉数	1,141	72.4%	1,268	80.5%

イ 関西商品取引所(平成24年5月31日現在)

(単位:枚)

	売		買	
	枚数	割合	枚数	割合
全取引参加者の総建玉数	1,353	100.0%	1,353	100.0%
うち建玉報告対象者の建玉数	1,227	90.7%	1,196	88.4%

(参考) 他の上場商品の建玉報告対象者の割合(東京穀物商品取引所)(平成24年5月31日現在)

(単位:枚)

		売		買	
		枚数	割合	枚数	割合
とうもろこし	全取引参加者の総建玉数	24,431	100.0%	24,431	100.0%
	うち建玉報告対象者の建玉数	21,545	88.2%	15,946	65.3%
一般大豆	全取引参加者の総建玉数	18,243	100.0%	18,243	100.0%
	うち建玉報告対象者の建玉数	13,886	76.1%	12,454	68.3%

注：商品先物取引法第112条第2号に基づき、商品取引所は、それぞれの商品先物市場において一定の建玉(両取引所とも米穀については21枚以上、東穀のとうもろこし及び一般大豆については51枚以上)を有する者の建玉の状況等を、毎日、主務大臣に報告することとされている。

2. 関連情報

(1) 米の取引価格及び数量

① 相対取引価格・数量

ア 相対取引価格(平成23年産米の主な産地銘柄別、平成24年4月)(速報)

(単位:円/玄米60kg)

産地	品種銘柄 (地域区分)	24年4月 ①	【参考】			
			24年3月 ②	対前月比 ①/②	23年4月 (22年産) ③	対前年 同期比 ①/③
北海道	北海道 きらら397	14,479	14,322	(101%)	11,807	(123%)
	北海道 ななつぼし	14,414	14,368	(100%)	11,949	(121%)
東北	青森 つがるロマン	—	13,613	—	11,507	—
	青森 まっしぐら	13,740	13,593	(101%)	11,257	(122%)
	岩手 ひとめぼれ	14,525	14,369	(101%)	11,925	(122%)
	岩手 あきたこまち	—	—	—	11,518	—
	宮城 ひとめぼれ	14,919	14,540	(103%)	12,123	(123%)
	宮城 ササニシキ	—	—	—	—	—
	秋田 あきたこまち	15,327	15,165	(101%)	12,283	(125%)
	山形 はえぬき	14,394	14,539	(99%)	11,852	(121%)
	福島 コシヒカリ	15,760	15,980	(99%)	—	—
	福島 コシヒカリ	14,173	13,874	(102%)	12,510	(113%)
	福島 コシヒカリ	—	13,923	—	—	—
福島 ひとめぼれ	13,687	13,772	(99%)	—	—	
関東・東山	茨城 コシヒカリ	16,629	15,848	(105%)	—	—
	栃木 コシヒカリ	15,482	15,490	(100%)	12,374	(125%)
	埼玉 彩のかがやき	—	14,128	—	—	—
	千葉 コシヒカリ	16,068	—	—	—	—
	長野 コシヒカリ	16,108	16,019	(101%)	—	—
北陸	新潟 コシヒカリ	18,643	18,779	(99%)	—	—
	新潟 コシヒカリ	—	23,931	—	—	—
	新潟 コシヒカリ	—	19,477	—	—	—
	新潟 コシヒカリ	—	19,511	—	—	—
	富山 コシヒカリ	16,013	16,222	(99%)	13,510	(119%)
	石川 コシヒカリ	15,955	16,268	(98%)	—	—
	福井 コシヒカリ	—	16,011	—	—	—
福井 ハナエチゼン	—	14,645	—	12,027	—	
東海・近畿	三重 コシヒカリ	—	—	—	—	—
	滋賀 コシヒカリ	15,998	15,878	(101%)	—	—
	滋賀 キヌヒカリ	15,381	15,258	(101%)	—	—
	兵庫 コシヒカリ	—	15,864	—	—	—
中国・四国	鳥取 コシヒカリ	—	15,917	—	—	—
	鳥根 コシヒカリ	15,892	15,912	(100%)	—	—
	広島 コシヒカリ	15,301	15,105	(101%)	11,854	(129%)
	山口 コシヒカリ	—	—	—	—	—
	徳島 コシヒカリ	—	—	—	—	—
	香川 ヒノヒカリ	14,980	14,662	(102%)	11,567	(130%)
	高知 コシヒカリ	—	—	—	—	—
	福岡 ヒノヒカリ	14,597	15,092	(97%)	12,350	(118%)
	佐賀 夢しずく	14,686	—	—	11,918	(123%)
	熊本 ヒノヒカリ	15,177	15,057	(101%)	—	—
九州	大分 ヒノヒカリ	15,420	15,322	(101%)	—	—
	宮崎 コシヒカリ	—	—	—	—	—
	鹿児島 ヒノヒカリ	—	—	—	—	—
	全銘柄平均価格	15,374	15,303	(100%)	12,760	(120%)

注1:相対取引価格は、運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格(なお、米穀の先物取引の価格は、取引所が指定する倉庫の置き場渡し、包装代込み、消費税相当額抜きの1等米の価格)。

注2:相対取引価格は、ア. 全国出荷団体、イ. 年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、ウ. 年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者と卸売業者等の主食用の相対取引契約(数量と価格が決定した時点を基準としている。)の価格であり、その契約数量を用いて加重平均した価格である。その際、新潟、長野、静岡以東(東日本)の産地銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西(西日本)の産地銘柄については受渡地を西日本としているものを加重平均している。

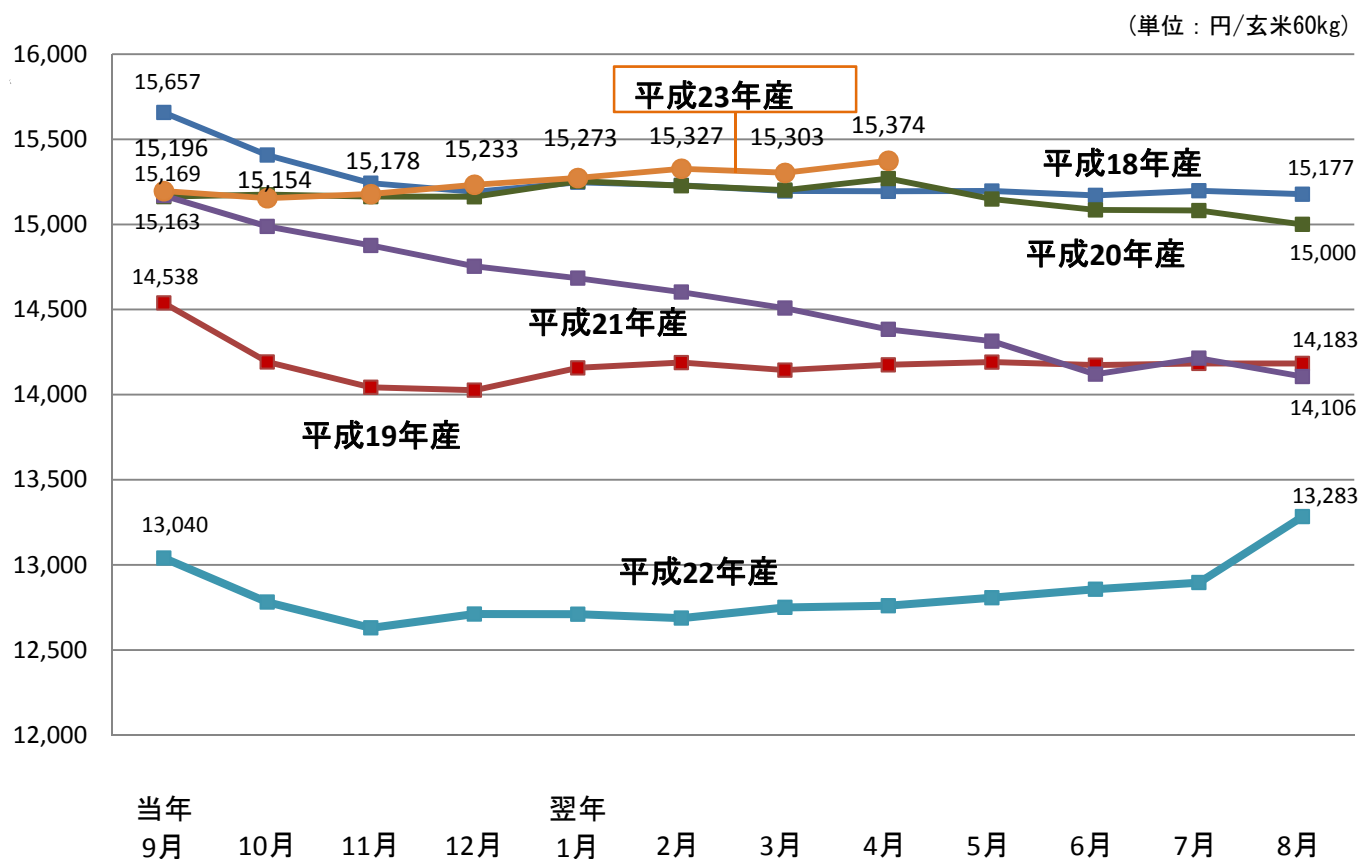
注3:相対取引価格は、個々の契約数量に応じて設定される大口割引等の割引が適用された価格であり、実際の引取状況に応じて等級及び付加価値等(栽培方法等)の価格調整が行われることがある。

注4:産地銘柄は、ア. 22年産の公表対象産地銘柄が存在した道府県における当該産地銘柄、又はイ. ア以外の道府県における22年産の検査数量の最も多かった1銘柄のうち、22年産の農産物検査受検数量原則15,000トン以上のものであり、月1,000トン以上の取引があったものである。

注5:全銘柄平均価格は、報告対象産地銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。

資料:農林水産省「米穀の取引に関する報告」

イ 相対取引価格の推移(年産別全銘柄平均価格)



- 注1：相対取引価格は、ア. 全国出荷団体、イ. 年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、ウ. 年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者と卸売業者等の主食用の相対取引契約(数量と価格が決定した時点を基準としている。)の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格。)であり、その契約数量を用いて加重平均した価格である。その際、新潟、長野、静岡以東(東日本)の産地銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西(西日本)の産地銘柄については受渡地を西日本としているものを加重平均している。
- 注2：相対取引価格は、個々の契約数量に応じて設定される大口割引等の割引が適用された価格であり、実際の引取状況に応じて等級及び付加価値等(栽培方法等)の価格調整が行われることがある。
- 注3：全銘柄平均価格は、報告対象産地銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。
- 資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

ウ 23年産米相対取引基準価格(全農)の推移
(全農公表資料をもとに農林水産省において算出)

(円/60kg、建値：基準地着、1等、包装代・消費税込み)

期間	相対取引基準価格 (全農)	相対取引価格 (農林水産省)	期間	相対取引基準価格 (全農)	相対取引価格 (農林水産省)
23年 8/8~	15,912 (1)	非公表	24年 1/10~	16,032 (57)	15,273 (107)
8/15~	15,408 (2)		1/16~	16,065 (57)	
8/22~	15,584 (5)		1/23~	16,065 (57)	
8/29~	16,120 (11)		1/30~	16,009 (57)	
9/5~	16,006 (19)	15,196 (84)	2/6~	16,009 (57)	15,327 (107)
9/12~	16,848 (29)		2/13~	16,009 (57)	
9/20~	16,638 (32)		2/20~	16,009 (57)	
9/26~	16,101 (43)		2/27~	16,009 (57)	
10/3~	15,887 (56)	15,154 (108)	3/5~	16,009 (57)	15,303 (107)
10/11~	15,887 (56)		3/12~	16,009 (57)	
10/17~	15,888 (56)		3/19~	16,009 (57)	
10/24~	15,884 (57)		3/26~	16,009 (57)	
10/31~	15,884 (57)	15,178 (106)	4/2~	16,009 (57)	15,374 (101)
11/7~	16,032 (57)		4/9~	16,009 (57)	
11/14~	16,032 (57)		4/16~	16,009 (57)	
11/21~	16,032 (57)		4/23~	16,009 (57)	
11/28~	16,032 (57)	15,233 (107)	5/7~	16,009 (57)	-
12/5~	16,032 (57)		5/14~	16,009 (57)	
12/12~	16,032 (57)		5/21~	16,009 (57)	
12/19~	16,032 (57)		5/28~	16,009 (57)	
12/26~	16,032 (57)				

注1：相対取引基準価格(全農)は、全農が公表している全産地銘柄の相対取引基準価格を基に、農林水産省において、消費税及び包装代(154円/60kg)を加算し、前年産の検査数量ウェイトを用いて加重平均したもの。

注2：相対取引基準価格(全農)の欄の括弧内の数字は、全農が公表している相対取引基準価格の産地銘柄数。

注3：相対取引価格(農林水産省)の欄の括弧内の数字は、農林水産省が公表している相対取引価格の全銘柄平均価格の算出に用いた産地銘柄数。

出典：農林水産省「米に関するマンスリーレポート(平成24年6月8日公表)」

エ 相対取引数量(累積数量、平成23年産米の主な産地銘柄別、平成24年4月)(速報)

(単位:玄米トン)

産地	品種銘柄 (地域区分)	23年産 (24年4月まで)	(前年比)	(前々年比)	22年産 (23年4月まで)	21年産 (22年4月まで)
		①	①/②	①/③	②	③
北海道	北海道 きらら397	122,612	(117%)	(148%)	104,797	82,672
	北海道 ななつぼし	154,224	(122%)	(172%)	126,805	89,586
東北	青森 つがるロマン	38,897	(100%)	(88%)	38,921	44,210
	青森 まっしぐら	64,088	(187%)	(163%)	34,349	39,401
	岩手 ひとめぼれ	113,678	(118%)	(201%)	96,529	56,476
	岩手 あきたこまち	25,768	(98%)	(178%)	26,356	14,444
	宮城 ひとめぼれ	142,324	(109%)	(212%)	130,955	67,095
	宮城 ササニシキ	11,673	(95%)	(160%)	12,226	7,285
	秋田 あきたこまち	173,095	(92%)	(136%)	188,960	127,442
	山形 はえぬき	114,735	(106%)	(125%)	107,862	91,542
	福島 コシヒカリ 会津	32,173	(90%)	(139%)	35,676	23,147
	福島 コシヒカリ 中通り	37,738	(120%)	(94%)	31,424	40,152
	福島 コシヒカリ 浜通り	5,247	(32%)	(48%)	16,224	10,932
福島 ひとめぼれ	31,299	(73%)	(85%)	42,729	36,726	
関東・東山	茨城 コシヒカリ	50,823	(106%)	(131%)	47,823	38,716
	栃木 コシヒカリ	108,003	(99%)	(119%)	109,244	90,685
	埼玉 彩のかがやき	11,893	(485%)	(138%)	2,451	8,593
	千葉 コシヒカリ	37,576	(87%)	(106%)	43,422	35,331
	長野 コシヒカリ	49,156	(85%)	(134%)	57,668	36,561
北陸	新潟 コシヒカリ 一般	126,441	(96%)	(130%)	131,086	97,612
	新潟 コシヒカリ 魚沼	26,654	(144%)	(168%)	18,561	15,824
	新潟 コシヒカリ 佐渡	17,350	(109%)	(130%)	15,848	13,378
	新潟 コシヒカリ 岩船	13,864	(105%)	(123%)	13,199	11,232
	富山 コシヒカリ	92,766	(95%)	(170%)	97,439	54,669
	石川 コシヒカリ	24,786	(87%)	(205%)	28,403	12,089
	福井 コシヒカリ	24,884	(96%)	(100%)	25,907	24,890
	福井 ハナエチゼン	12,016	(49%)	(60%)	24,347	20,023
東海・近畿	三重 コシヒカリ 一般	15,004	(89%)	(98%)	16,926	15,328
	滋賀 コシヒカリ	23,544	(88%)	(106%)	26,606	22,274
	滋賀 キヌヒカリ	11,205	(83%)	(90%)	13,502	12,519
	兵庫 コシヒカリ	12,442	(86%)	(136%)	14,519	9,121
中国・四国	鳥取 コシヒカリ	6,443	(64%)	(59%)	10,088	10,830
	島根 コシヒカリ	19,482	(94%)	(156%)	20,636	12,449
	広島 コシヒカリ	13,381	(69%)	(88%)	19,388	15,211
	山口 コシヒカリ	14,526	(99%)	(196%)	14,668	7,408
	徳島 コシヒカリ	9,717	(92%)	(84%)	10,507	11,511
	香川 ヒノヒカリ	8,550	(86%)	(58%)	9,995	14,669
	高知 コシヒカリ	5,132	(86%)	(73%)	5,942	7,027
	福岡 ヒノヒカリ	20,100	(119%)	(126%)	16,917	15,917
九州	佐賀 夢しずく	8,349	(73%)	(76%)	11,471	11,039
	熊本 ヒノヒカリ	8,403	(176%)	(99%)	4,784	8,456
	大分 ヒノヒカリ	9,514	(102%)	(85%)	9,351	11,199
	宮崎 コシヒカリ	6,179	(81%)	(52%)	7,597	11,974
	鹿児島 ヒノヒカリ	4,898	(220%)	(91%)	2,228	5,402
全銘柄合計契約数量		2,349,030	(103%)	(131%)	2,270,005	1,799,259

注1:相対取引数量は、ア.全国団体、イ.年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、ウ.年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者が、卸売業者等と主食用の相対取引契約(数量と価格が決定した時点を基準としている。)を行った数量である。なお、新潟、長野、静岡以東(東日本)の産地銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西(西日本)の産地銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。

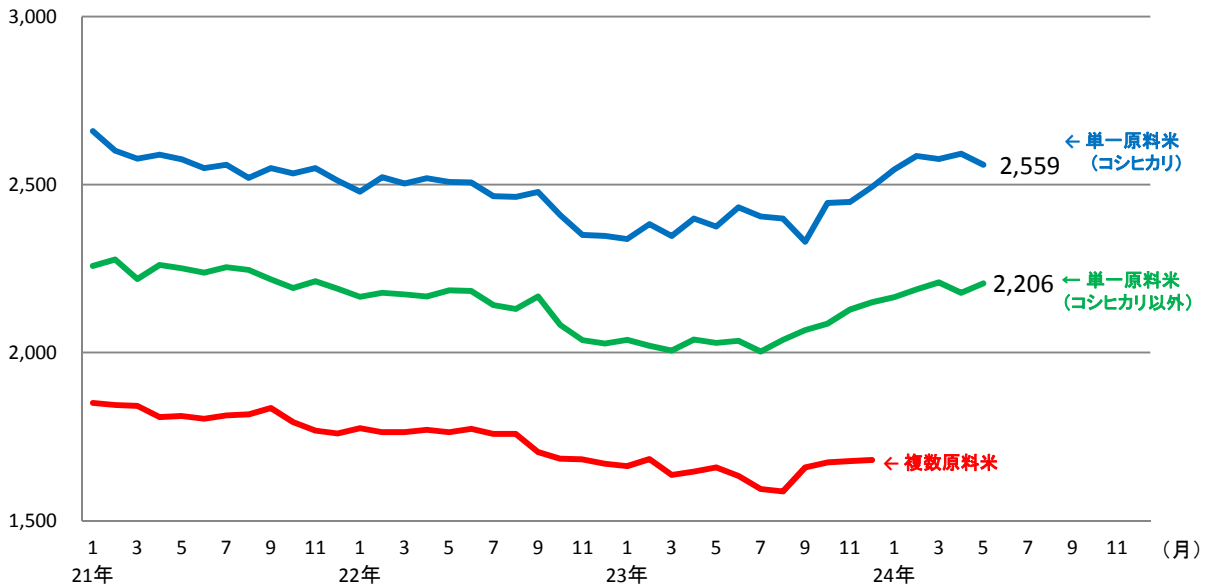
注2:産地銘柄は、ア.22年産の公表対象産地銘柄が存在した道府県における当該産地銘柄、又はイ.ア以外の道府県における22年産の検査数量の最も多かった1銘柄のうち、22年産の農産物検査受検数量原則15,000トン以上のもの。

注3:全銘柄合計契約数量は、農林水産省が公表している相対取引価格の報告対象銘柄の契約数量の合計。

資料:農林水産省「米穀の取引に関する報告」

② 小売物価統計による推移

(円/5kg)包装・消費税込み



(単位:円/5kg 包装・消費税込み)

	うるち米		
	単一原料米 (コシヒカリ)	単一原料米 (コシヒカリ以外)	複数原料米
平成17年	2,804	2,375	2,040
平成18年	2,744	2,341	1,996
平成19年	2,670	2,288	1,950
平成20年	2,610	2,270	1,832
平成21年	2,531	2,201	1,812
平成22年	2,462	2,136	1,739
平成23年	2,399	2,053	1,649
平成23年1月	2,338	2,038	1,662
2月	2,382	2,020	1,683
3月	2,347	2,006	1,636
4月	2,399	2,039	1,646
5月	2,375	2,029	1,658
6月	2,432	2,035	1,633
7月	2,405	2,003	1,594
8月	2,399	2,038	1,587
9月	2,330	2,067	1,658
10月	2,445	2,086	1,673
11月	2,448	2,128	1,677
12月	2,493	2,150	1,680
平成24年1月	2,545	2,165	-
2月	2,585	2,188	-
3月	2,576	2,209	-
4月	2,592	2,178	-
5月	2,559	2,206	-

注1:東京都区部の数値である。

注2:特売を除いた価格である。

注3:精米ベースである。

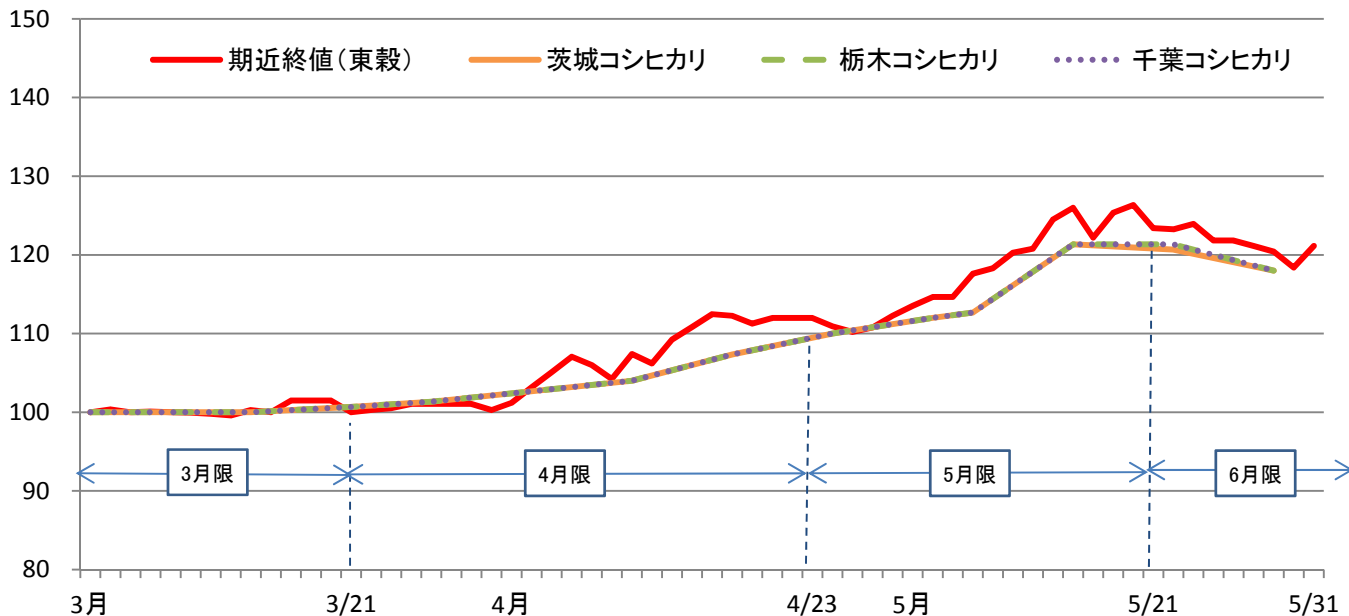
注4:複数原料米については、平成23年12月をもって調査が終了した。

資料:総務省「小売物価統計」

(2) 期近限月の終値と自由米価格(スポット価格)の値動き

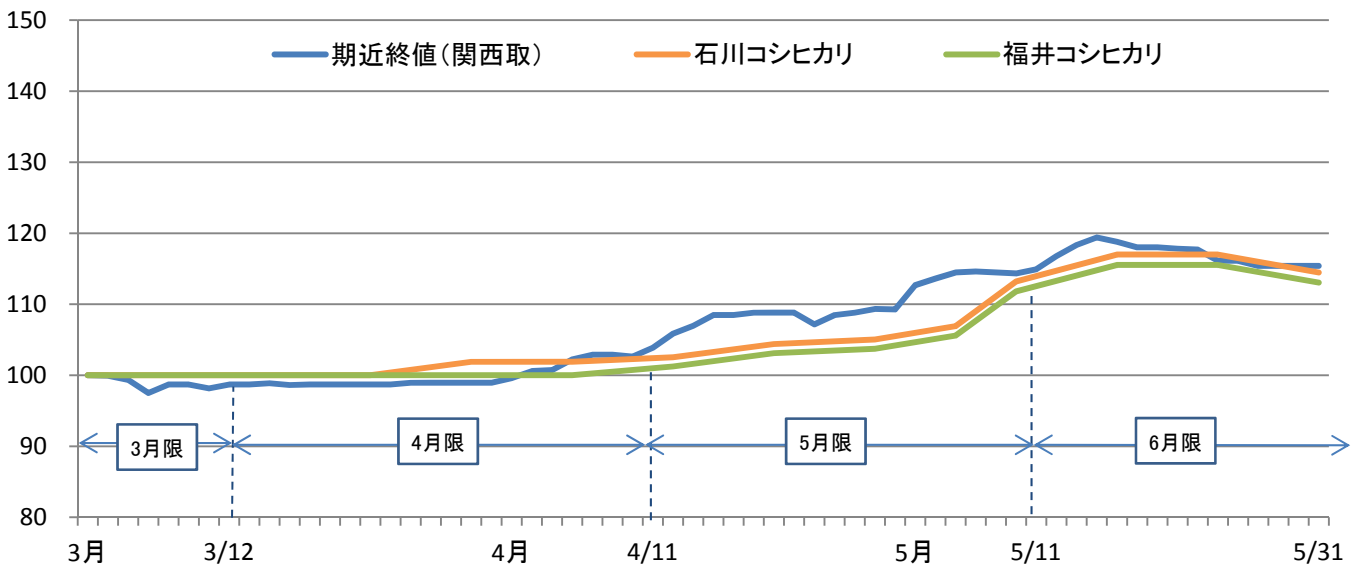
ア 東京穀物商品取引所(関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米、期近限月)

※期近限月の終値は、平成24年3月1日の終値を100として指数化したもの。
自由米価格(スポット価格)は、平成24年2月28日の価格を100として指数化したもの。



イ 関西商品取引所(北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米、期近限月)

※期近限月の終値は、平成24年3月1日の終値を100として指数化したもの。
自由米価格(スポット価格)は、平成24年3月1日の価格を100として指数化したもの。



注1: 東京穀物商品取引所・関西商品取引所の公表データ及び株式会社米穀データバンクが「米穀市況速報」で公表している自由米価格データをもとに農林水産省において作成。

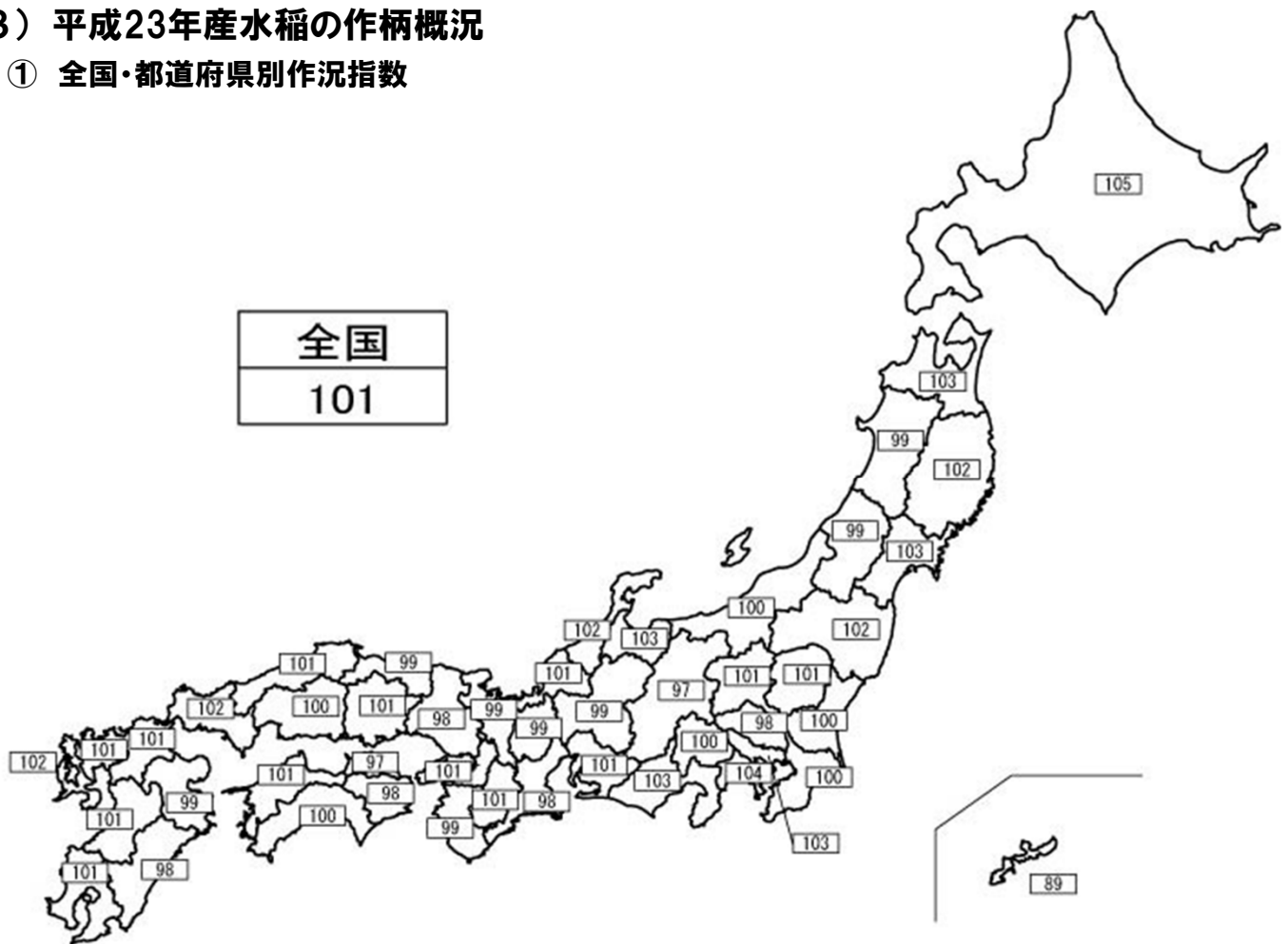
注2: 期近限月の終値は、平成24年3月1日の終値を100として指数化したもの。

注3: 自由米価格(スポット価格)は、10トン以上の仲間相場における価格(1等、包装代込み、消費税抜き。)であり、茨城・栃木・千葉コシヒカリは、東京着基準。石川・福井コシヒカリは、大阪市内着基準。

注4: 茨城・栃木・千葉コシヒカリの自由米価格(スポット価格)は、平成24年2月28日の価格を100として指数化したものであり、石川・福井コシヒカリの価格は、平成24年3月1日の価格を100として指数化したもの。

(3) 平成23年産水稻の作柄概況

① 全国・都道府県別作況指数



注:「作況指数」とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり収量の比率である。
 出典:農林水産省「平成23年産水陸稲の収穫量」

② 平成23年産水陸稲の収穫量(全国農業地域別)

全国農業地域	水陸稲計		水稲						
	作付面積 (子実用)	収穫量 (子実用)	作付面積 (子実用) ①	10a当たり 収 量 ②	収穫量 (子実用) ③=①×②	参 考			
						主食用 作付面積 ④	収穫量 (主食用) ⑤=④×②	10a 当たり 平年収量 ⑥	作況指数 ⑦=②/⑥
ha	t	ha	kg	t	ha	t	kg		
全 国	1,576,000	8,402,000	1,574,000	533	8,397,000	1,526,000	8,133,000	530	101
北 海 道	112,900	634,500	112,900	562	634,500	109,100	613,100	535	105
東 北	389,000	2,199,000	389,000	565	2,199,000	370,900	2,096,000	558	101
北 陸	208,800	1,122,000	208,800	537	1,122,000	195,500	1,050,000	533	101
関東・東山	298,000	1,582,000	295,600	533	1,577,000	289,700	1,546,000	535	100
東 海	102,400	514,400	102,400	502	514,400	101,500	510,400	503	100
近 畿	109,300	551,200	109,300	504	551,200	107,700	542,800	509	99
中 国	115,100	600,400	115,100	522	600,400	113,200	590,500	517	101
四 国	56,200	268,600	56,200	478	268,600	55,900	267,100	484	99
九 州	183,500	927,000	183,500	505	927,000	181,300	915,400	503	100
沖 縄	921	2,540	921	276	2,540	921	2,540	309	89

注1:作付面積(子実用)とは、青刈り用の面積を除いた面積である。
 注2:主食用作付面積とは、水稲作付面積(青刈り面積を含む。)から、需給調整の取組として取り扱う米穀等(備蓄米、加工用米、新規需要米等)の面積を除いた面積である。
 注3:収穫量(子実用)及び収穫量(主食用)については都道府県ごとの積み上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
 出典:農林水産省「平成23年産水陸稲の収穫量」

③ 水陸稲(子実用)の年次別推移(全国)

年 産	水 陸 稲 計		水 稲						
	作 付 面 積 (子実用)	収 穫 量 (子実用)	作 付 面 積 (子 実 用)	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量 (子 実 用)	参 考			作 況 指 数
						主 食 用 作 付 面 積	収 穫 量 (主 食 用)	10 a 当 たり 平 年 収 量	
	ha	t	ha	kg	t	ha	t	kg	
昭和55年産	2,377,000	9,751,000	2,350,000	412	9,692,000	…	…	471	87
56	2,278,000	10,259,000	2,251,000	453	10,204,000	…	…	474	96
57	2,257,000	10,270,000	2,230,000	458	10,212,000	…	…	477	96
58	2,273,000	10,366,000	2,246,000	459	10,308,000	…	…	478	96
59	2,315,000	11,878,000	2,290,000	517	11,832,000	…	…	479	108
60	2,342,000	11,662,000	2,318,000	501	11,613,000	…	…	481	104
61	2,303,000	11,647,000	2,280,000	508	11,592,000	…	…	484	105
62	2,146,000	10,627,000	2,123,000	498	10,571,000	…	…	487	102
63	2,110,000	9,935,000	2,087,000	474	9,888,000	…	…	490	97
平成元年産	2,097,000	10,347,000	2,076,000	496	10,297,000	…	…	492	101
2	2,074,000	10,499,000	2,055,000	509	10,463,000	…	…	494	103
3	2,049,000	9,604,000	2,033,000	470	9,565,000	…	…	497	95
4	2,106,000	10,573,000	2,092,000	504	10,546,000	…	…	498	101
5	2,139,000	7,834,000	2,127,000	367	7,811,000	…	…	499	74
6	2,212,000	11,981,000	2,200,000	544	11,961,000	…	…	499	109
7	2,118,000	10,748,000	2,106,000	509	10,724,000	…	…	501	102
8	1,977,000	10,344,000	1,967,000	525	10,328,000	…	…	502	105
9	1,953,000	10,025,000	1,944,000	515	10,004,000	…	…	504	102
10	1,801,000	8,960,000	1,793,000	499	8,939,000	…	…	507	98
11	1,788,000	9,175,000	1,780,000	515	9,159,000	…	…	512	101
12	1,770,000	9,490,000	1,763,000	537	9,472,000	…	…	518	104
13	1,706,000	9,057,000	1,700,000	532	9,048,000	…	…	518	103
14	1,688,000	8,889,000	1,683,000	527	8,876,000	…	…	522	101
15	1,665,000	7,792,000	1,660,000	469	7,779,000	…	…	524	90
16	1,701,000	8,730,000	1,697,000	514	8,721,000	…	…	525	98
17	1,706,000	9,074,000	1,702,000	532	9,062,000	…	…	527	101
18	1,688,000	8,556,000	1,684,000	507	8,546,000	…	…	529	96
19	1,673,000	8,714,000	1,669,000	522	8,705,000	…	…	529	99
20	1,627,000	8,823,000	1,624,000	543	8,815,000	1,596,000	8,658,000	530	102
21	1,624,000	8,474,000	1,621,000	522	8,466,000	1,592,000	8,309,000	530	98
22	1,628,000	8,483,000	1,625,000	522	8,478,000	1,580,000	8,239,000	530	98
23	1,576,000	8,402,000	1,574,000	533	8,397,000	1,526,000	8,133,000	530	101

注1：作付面積(子実用)とは、青刈り用の面積を除いた面積である。

注2：主食用作付面積とは、水稲作付面積(青刈り面積を含む。)から、需給調整の取組として取り扱う米穀等(備蓄米、加工用米、新規需要米等)の面積を除いた面積である。

注3：「…」は事実不詳又は調査を欠くもの。

出典：農林水産省「平成23年産水陸稲の収穫量」

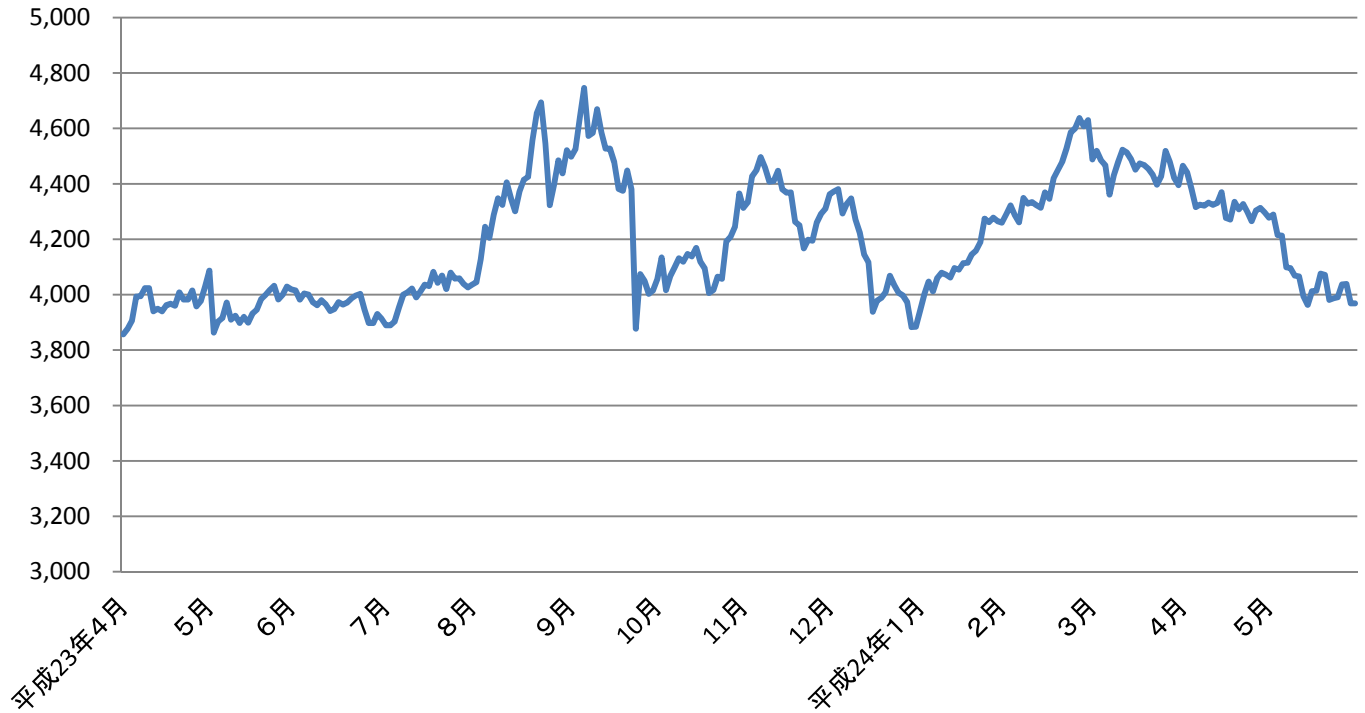
(4) 農産物以外の上場商品及び金融商品等の動向

① 工業品の動向(東京工業品取引所)

ア 価格動向の推移

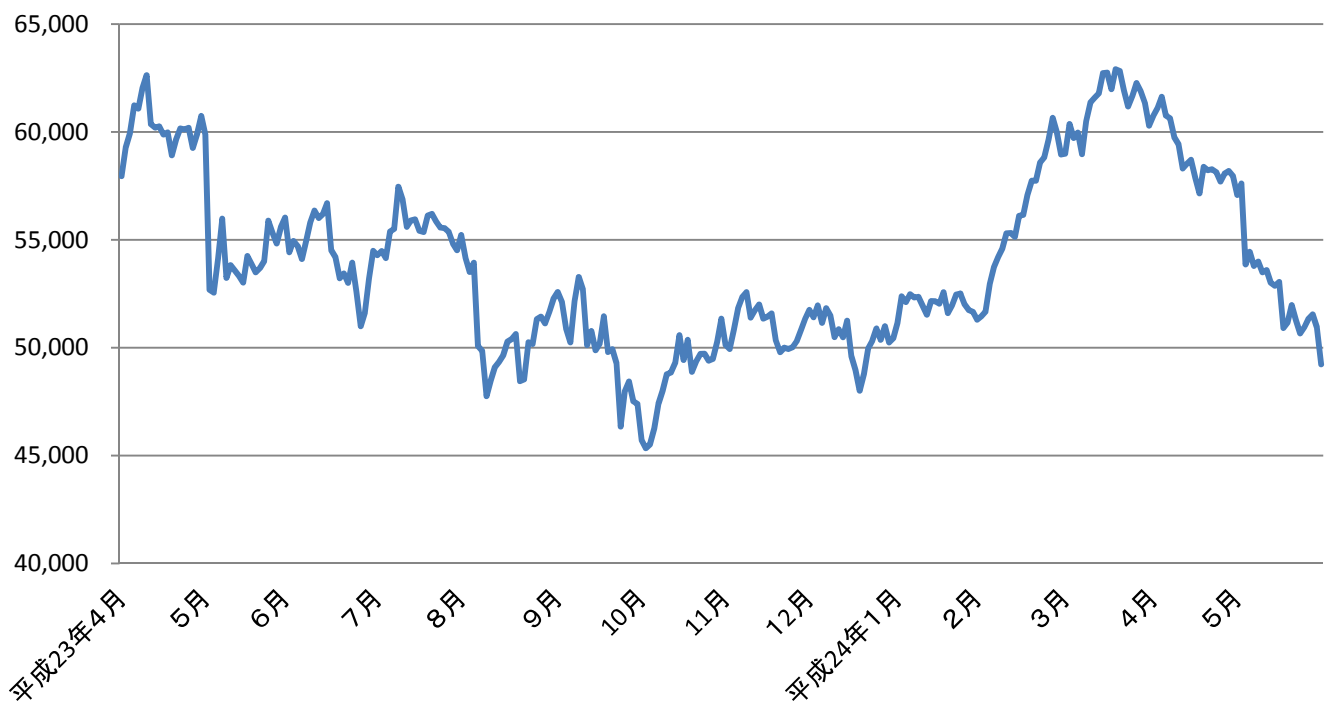
(ア) 金

(単位:円/1g)



(イ) 原油

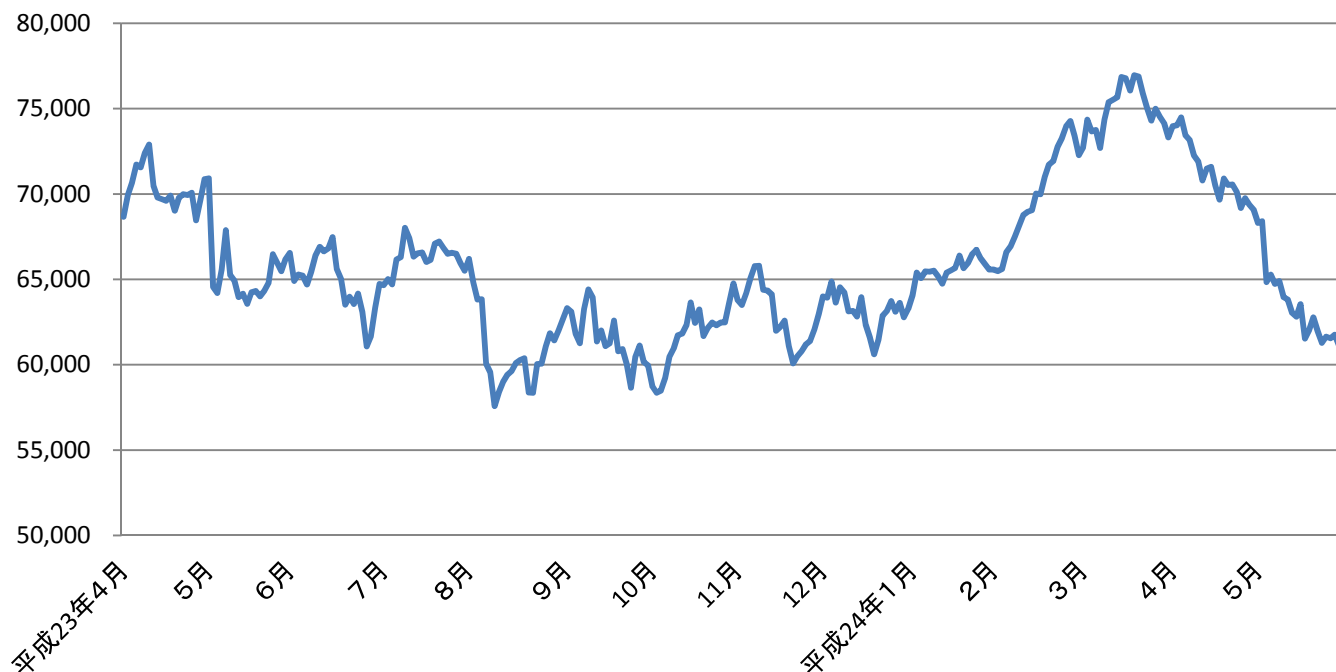
(単位:円/1kl)



注：平成23年4月から平成24年5月末までの期先限月の終値又は帳入値。
資料：東京工業品取引所HP「ヒストリカルデータ 約定値段、出来高及び取組高推移」

(ウ) ガソリン

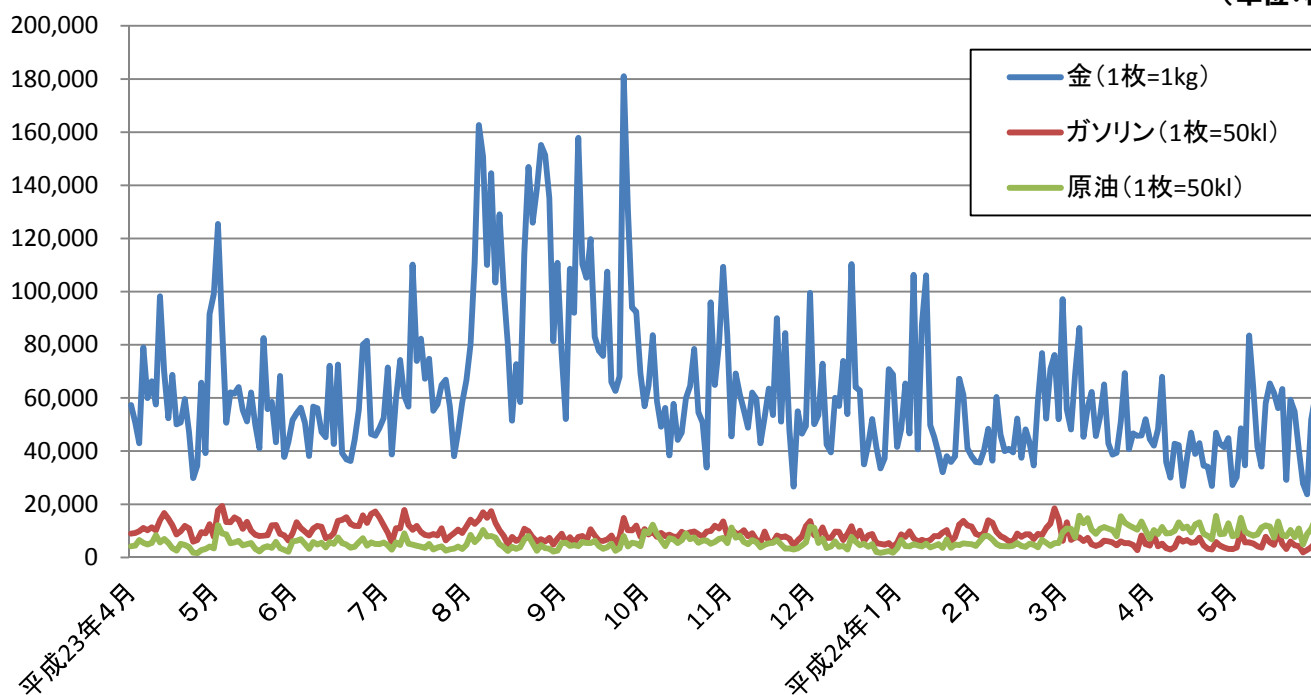
(単位:円/1kl)



注：平成23年4月から平成24年5月末までの期先限月の終値又は帳入値。
資料：東京工業品取引所HP「ヒストリカルデータ 約定値段、出来高及び取組高推移」

イ 出来高の推移(金、原油及びガソリン)

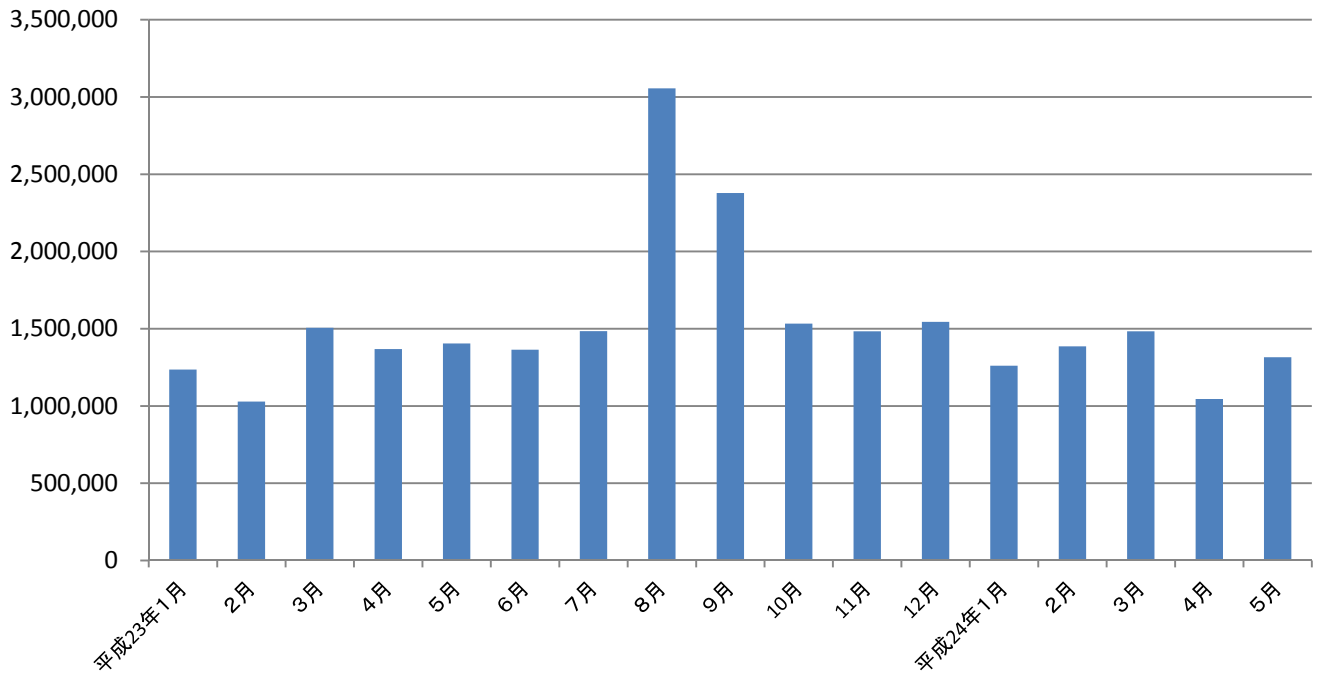
(単位:枚)



注：平成23年4月から平成24年5月末までの出来高。
資料：東京工業品取引所HP「ヒストリカルデータ 約定値段、出来高及び取組高推移」

ウ 東京工業品取引所の金の月間出来高

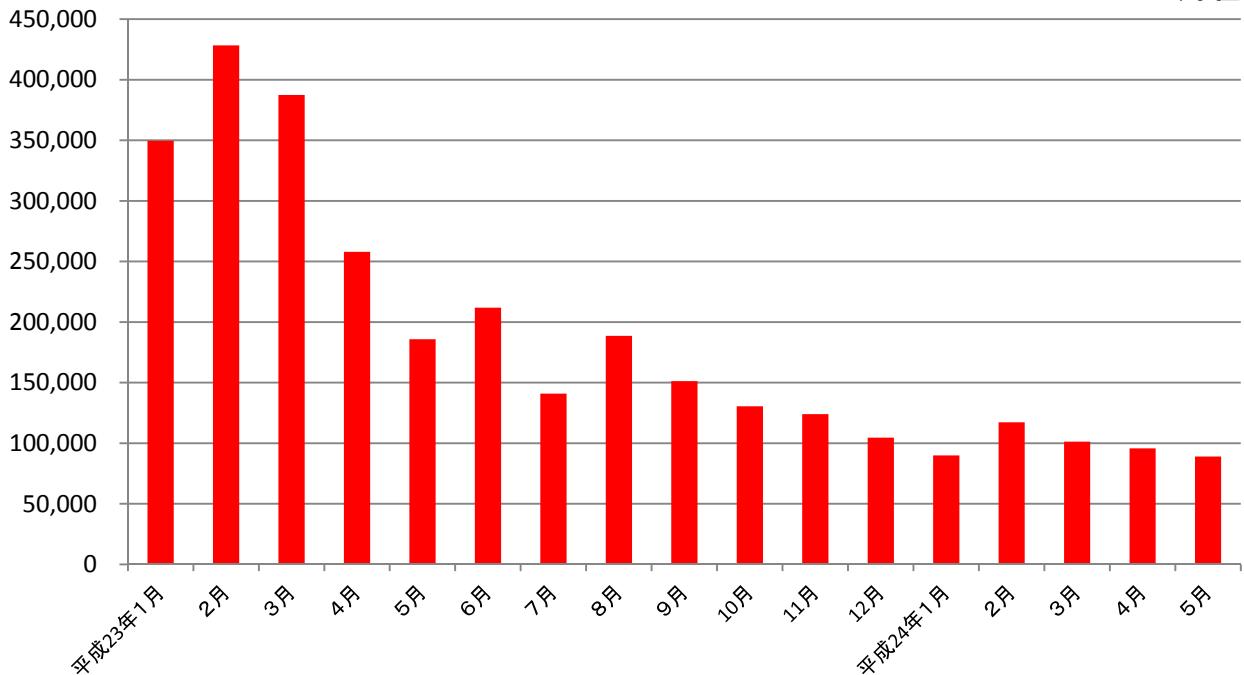
(単位:枚)



注:平成23年1月から平成24年5月までの金(金ミニを含む。)の月間出来高。
資料:日本商品清算機構HP「商品取引所出来高速報等」

(参考) 東京穀物商品取引所の月間出来高

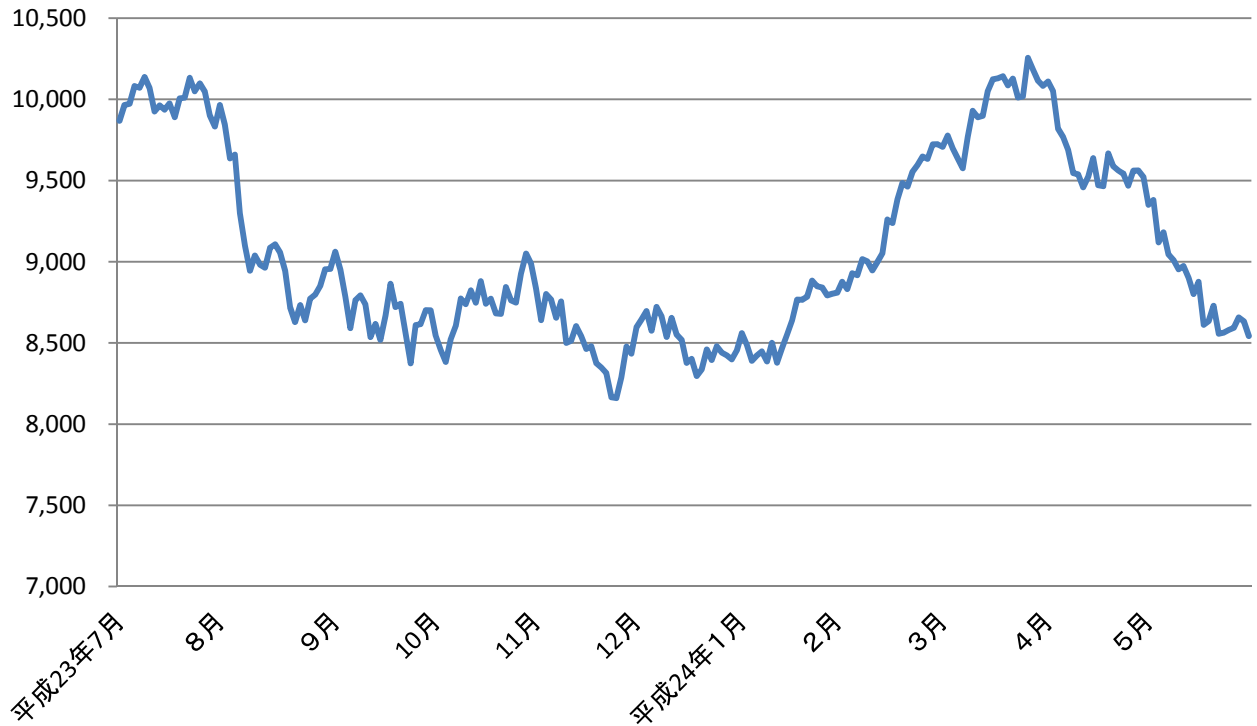
(単位:枚)



注:平成23年1月から平成24年5月までの東京穀物商品取引所の月間出来高。

② 株価の動向(日経平均株価(225種))

(単位:円)

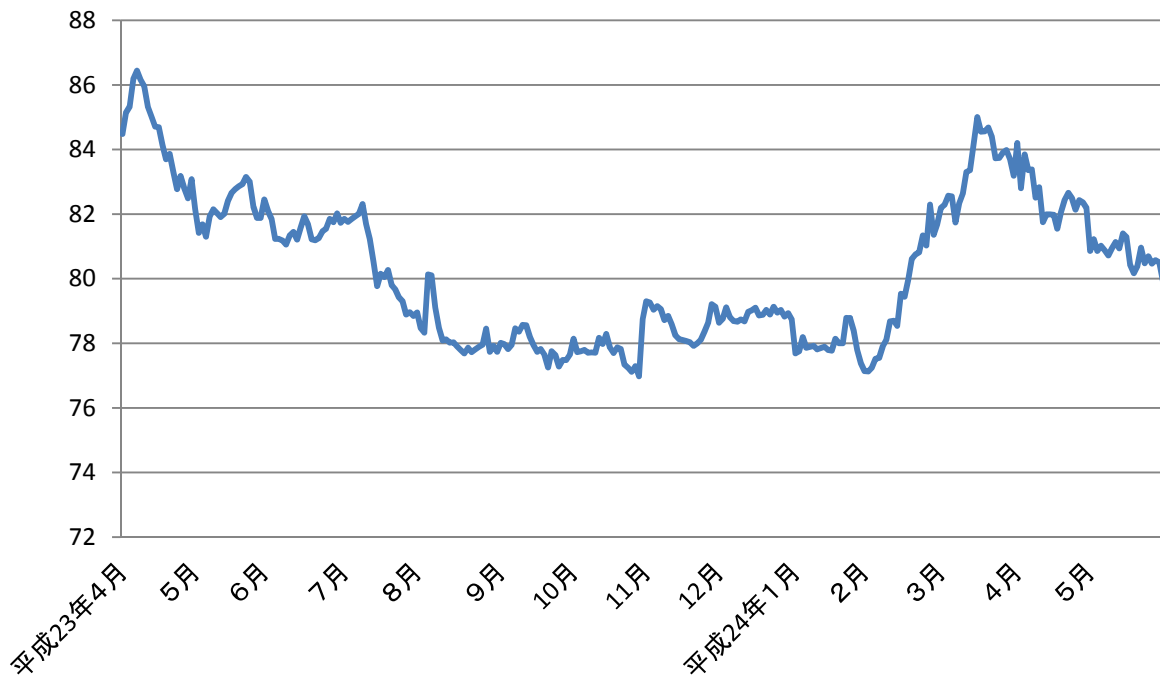


注：平成23年7月から平成24年5月末までの日経平均株価（東京証券取引所第1部上場企業から選定された225銘柄で構成）の終値。

出典：(C) 日本経済新聞社

③ 為替の動向(対米ドル、T T S)

(単位:円)



注：平成23年4月から平成24年5月末までの三菱東京UFJ銀行公表のT T S（円貨から外貨預金に預け入れるときの換算相場）。

資料：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社HP「過去の外国為替相場一覧表」

